

平成27年度

南部町教育委員会の事務の 点検及び評価報告書

《 平成 26 年度実績 》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し報告するものです。



目 次

○まえがき	……………P. 2
○点検・評価アドバイザーによる意見	……………P. 3～5
○点検及び評価の概要	……………P. 6
○事務事業の点検及び評価とは	……………P. 7
○南部町教育方針	……………P. 8～13
1. 学校教育指導の方針と重点	……………P. 9～12
2. 社会教育指導の方針と重点	……………P. 12
3. 文化財保護行政の方針と重点	……………P. 13
4. 学校給食重点目標	……………P. 13
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表	… P. 14～16
○事業毎個別評価の観点	……………P. 17
○事業毎個別評価表	…………… P. 18～61
○教育委員会活動の状況	……………P. 62～65
1. 教育委員会委員構成	……………P. 62
2. 教育委員会の活動概要	……………P. 62～63
3. 教育委員会会議	……………P. 64～65
○教育委員会事務局の組織の状況	……………P. 66～69
1. 教育委員会機構図	……………P. 66
2. 教育委員会事務分掌	……………P. 67～68
3. 教育関係予算の状況(決算)	……………P. 69
○町立小・中学校の「特色ある学校経営事業」の目的と実績	… P. 70～81

平成27年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

《 平成 26 年度実績 》

◆ まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報誌などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 11 月 南部町教育委員会

平成26年度の教育委員会の事務事業について、6回に渡って各担当者と点検し、評価を頂きました。

総評として、両アドバイザーから、次のようなご意見を頂きました。

点検・評価アドバイザーによる意見（平成26年度分）

9月7日の辞令交付式を皮切りに、「点検・評価アドバイザー会議」を6回開催。平成26年度の南部町教育委員会が管理執行した事務の進捗状況について点検・評価を行なった。

評価対象の事務は、町の将来像を定めた「南部町総合振興計画」、「南部町教育方針」の重点に基づいた事業で、学校教育、社会教育、文化財保護行政、学校給食などの担当部署がある。会議では、各部署の担当者から「事業毎個別評価表」をもとに事業の概要、実践、成果、評価・方向性等について説明を受けて協議をした。

結果、平成26年度教育委員会が管理執行した事務は概ね順調に推進できたと考える。前年度並みの事業もあったが、経年的に見れば検討・改善がなされ、事業の先には振興計画に謳われる「自然・環境・福祉に恵まれた交流のまち」があり、その基礎となる「教育は人づくり、人づくりはまちづくり」という教育理念が息づいている。とりわけ、多額の助成金を要する「特色ある学校経営事業」は、町当局の教育に寄せる期待の大きさの表れと言える。財政厳しい中での当局の決断と各校の事業努力に対してまず敬意を表したい。各校におかれては、基礎学力定着のための授業時数等の確保に努めながら事業の充実を図り、「確かな学力」、「生きる力」がさらに身に付くよう期待したい。

また、会議資料作成においては、どの「評価表」にも「成果」だけでなく「課題」の記述があれば協議が深まり、PDCA効果も増大するものと考え。また、振興計画の「ベンチマーク」のような単純明快な評価基準（指標）があれば、よりベターである。

以下に担当部署ごとに所見の一端を述べさせていただきたい。

- 「学校教育」では、特に「スクールサポーター配置支援事業」、「スクールカウンセラー配置事業」、「就学指導委員会事業」は、教育方針の重点「授業の充実」にとどまらず、児童・生徒の人権にも配慮した対策として評価したい。「語学指導外国語青年招致事業」は、園児から中学生までを対象としており、事業の拡充によって異文化理解やコミュニケーション能力がより向上するものと期待できる。

教職員の新採用者を対象にした「教職員研修事業」については、対象や事業名も含めて検討が必要かと考える。

- 「社会教育」では、会員の自主的運営による「趣味の教室」（24講座）をはじめ、参加総数が800人を超えた「南部ふるさと塾」、地域のゲストティーチャーによる「学校と地域ネット推進事業」、「家庭教育セミナー」等々、多種多様な事業が展開されている。スポーツ・健康・安全に関する事業も地域の関係者・関係機関・各施設との連携・支援のもとに盛況である。まさに、町民が生き甲斐をもって集い、学びたいときに学び、身につけたものを生かせる「交流のまち」がある。

今後も人材バンクを充実させ各種事業のPRを工夫し、さらに多くの町民の参加を促すとともに、常に時代や町民のニーズを把握して新規事業の適切な企画や統廃合を図るよう期待したい。

- 「文化財保護行政」では、聖寿寺館跡地の発掘調査や史跡の公園化が計画的に推進されている。また、このたび「南部学研究会」の発掘研究が全国の耳目を集めた。郷土芸能は、少子・高齢化が進むなか、保存会や各地域の助成団体のもとでしっかりと継承されている。各事業への意欲と着実な成果が感じられて喜ばしい。

今後、町民や子どもたちによる発掘体験や出前授業の拡充を図ることで、南部藩発祥のふるさとを誇りに思う町民が増えることが期待できる。「奥州街道の整備・活用・普及事業」では、道路標識も含めて情報手段を工夫して広く周知を図る必要があると考える。

- 「学校給食」は、安全安心・栄養のバランス・手作り感・伝統食・地産地消など5つの事業目標を掲げている。特に、安全安心のために「作業動線図」を活用した調理や、検査機関や業者との連携に努めている。また、いろいろな機会に園児・児童・生徒を対象に栄養指導、健康指導を行うとともに、「地産地消」のための献立にも工夫している。きめ細やかで創意ある事業運営を高く評価したい。

今後、食材の値上がりや地元野菜の安定供給が危惧されているようだが、未来を担う子どもたちのために引き続き創意工夫をして対応されることを期待する。

終わりに、事業推進にご尽力された職員並びに関係者各位の熱意と献身的な取組みに対して改めて敬意を表す。今後も事業内容と振興計画、教育方針との整合性を図りながら、町民と一体となって「生涯学習社会の形成」という視点から「交流のまち」づくりを推進されるようお願いしている。以上、会議の所感をもって「意見」に代えたい。

平成27年11月5日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

橋 公 人

点検・評価アドバイザーによる意見（平成26年度分）

1年間の事務事業は、「南部町総合振興計画」を受けて教育委員会が策定した「教育方針」の、学校教育及び社会教育の「指導の方針と重点」に基づいて実施されていますが、その事務事業の「点検及び評価」を拝見し、担当者から説明を聞きました。限られた予算の中で、学校教育、社会教育ともに効果的に事業の展開がなされていることに敬意を表します。

そのうえで、今後の事業の参考になればと、敢えて次のような意見を述べさせていただきます。

まず、全体的なことについて述べます。

- 1 事業毎個別評価表の「概要」「成果」「評価と方向性」の内容は、それぞれ素晴らしい表現ですが具体性に乏しいものもあります。年間の事務事業の点検と評価ですので、当該年度の事業について、目標や目的なりを示し、実績を点検・評価し、そして次年度への方向性を検討してほしいと思います。
- 2 職員が減少している中で事業すべてについて点検・評価し、それを報告書にまとめることは大変な労力があると思われます。事務事業で、点検・評価したものの中から、当該年度の重点的なもの、目玉的なもの、あるいは大きく変更したものを年度毎に選択して報告書にまとめる方法も一考してはどうでしょうか。

次に、学校教育関係について述べます。

- 1 「スクールサポーター支援員配置事業」の業務時間を広げる。あるいは、教職経験者や教職を目指している方々をスクールサポーターの補助員として採用し、児童生徒の援助、教員の支援を

深めて、きめ細かな学習指導ができるようにする。

また、スクールサポーターとスクールカウンセラーの連携によって事業が充実するような方法を検討してはいかがでしょうか。

- 2 「語学指導外国語青年招致事業（JET）」のように初めての民間業者への委託や「中学生海外派遣事業」のように内容を大きく変更した場合は、特に十分な検証が望めます。
- 3 「教職員研修事業」は、新採用のみが対象ではなく幅を広げて、基本的に人事異動により初めて南部町に赴任した教職員を対象に実施することにしてはどうでしょうか。
- 4 児童生徒の学習レベルの向上を図り、また、将来、子供たちが南部町に戻ってくる人材育成のためにも、町外の教員が、南部町の学校で教育をしたくなるような「教育環境づくり」に力を入れ、優秀な教員の人材が確保出来るような事業を検討してほしい。

次に、社会教育関係について述べます。

- 1 住民や各種関係団体の代表として選出され活動されている、社会教育委員、公民館運営審議会など各種委員会等の「審議状況」についての点検・評価も行い、一層の社会教育の振興を図って頂きたい。
- 2 社会教育の事業は、職員の減少している現状を加味すると、事業の企画、実施にあたって大変御苦労されているようです。そこで、事業実施に当たっては、各種講座等で経験を積んだ受講生や社会教育関係団体のボランティア活動を活用する。また、内容によっては、専門業者を依頼することも一考の余地があると思います。
- 3 「ふるさと“楽習”キャンプ」では、「山での災害時の対応」「けがの応急手当て」など、災害時に役立つ訓練や実習を内容に含めてはどうでしょうか。また、ふるさとの理解のため、農業体験、誘致企業の施設見学、文化財の見学などを取り入れてはどうでしょうか。
- 4 「学校と地域ネット推進事業」やニュースポーツ関係の事業などで、大人の指導者を多く活用しているようですが、日常的に指導者と学校や児童生徒たちのつながりが持てるような、子ども達の「安全・安心な地域づくり」につながるような組織づくりなどを検討してほしい。

最後に、次のことを申し上げます。

社会教育、公民館（事業）とは何か、どんな役割があるか、公民館の目的を達するために行う事業は、どんなものか、もう一度原点に立ち返り考えてほしい。

近年、公民館の事業のあり方が変化してきているように思います。公民館は、地域住民の学習要求に基づく教室・講座を展開することが多くなり、それなりに役割を果たしてきていると言えます。しかし、公民館は、地域に関わる現代的な課題などについても積極的に取り組むことにより、地域の振興や活性化に向けての重要な役割を担うことができると思います。

すなわち、住民に自覚や意識がないが学習しなくてはならない**必要課題**（地域課題＝交通問題・高齢化社会問題など、生活課題＝家庭教育、悪徳商法、生活環境など）と、住民が学習したいという**要求課題**（英会話・手芸・絵画など）を良く勘案し、把握して、事業に取り組まれることが重要だと思います。

また、国の重点政策に「**地方創生**」がありますが、南部町の「**地域創生**」につながる事業、言い換えると、地域毎の自治能力の向上を図るための事業への取り組みが必要であり、これも公民館の役割の一つと考えます。

平成27年11月5日

南部町教育委員会の事務の点検・評価アドバイザー

庭田 卓夫

点検及び評価の概要

1 経 緯

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出、公表することとされました。

2 点検・評価の対象

南部町教育方針にある教育施策の重点に即して行われた事業

3 点検・評価の方法〈内部評価〉

(1) 事業担当部署による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が実施状況をまとめて評価

(2) 教育委員会による点検及び評価

- ・ 各事業担当部署が評価したものを、事業の妥当性について評価

4 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、学識経験者等を「点検・評価アドバイザー」として委嘱し、点検・評価の実施方法や内容について意見をいただいております。

5 点検・評価アドバイザー

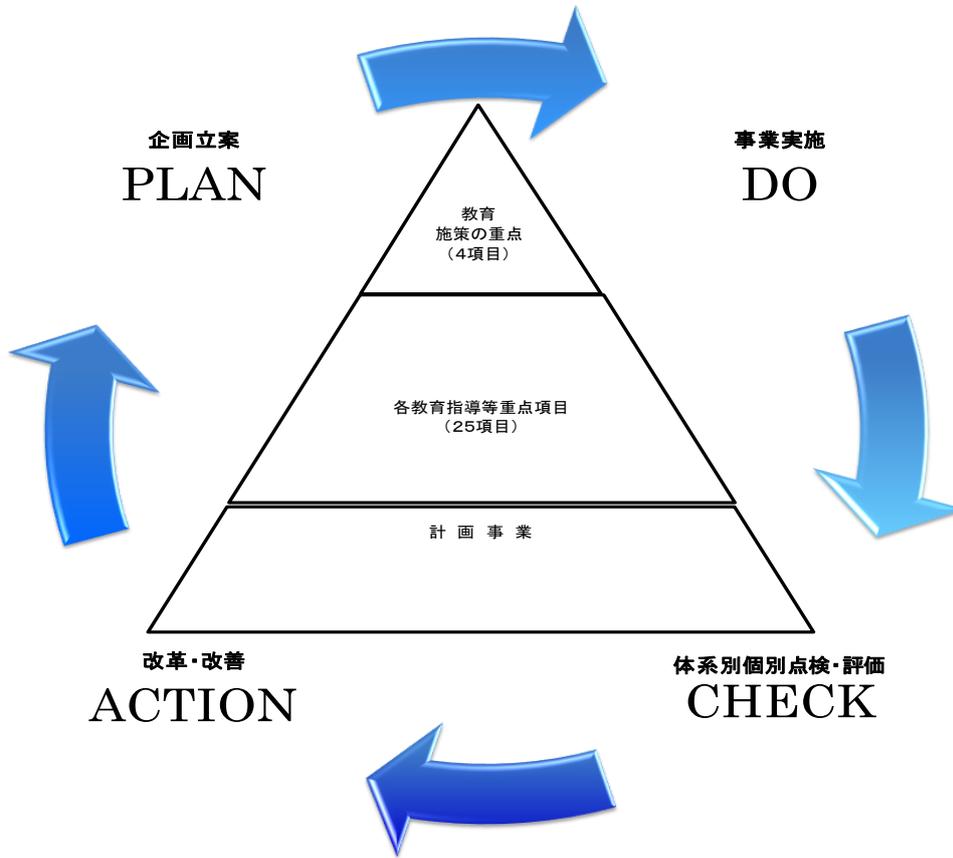
氏 名	団 体 ・ 役 歴
橘 公 人 氏	元杉沢中学校校長～元五戸中学校長
庭 田 卓 夫 氏	元南部町教育委員会参事学務課長

(1) 点検・評価アドバイザー会議の開催状況

- ・ 第1回会議 平成27年 9月 7日開催
- ・ 第2回会議 平成27年 9月14日開催
- ・ 第3回会議 平成27年 9月30日開催
- ・ 第4回会議 平成27年10月 7日開催
- ・ 第5回会議 平成27年10月16日開催
- ・ 第6回会議 平成27年11月 5日開催

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、教育委員会が行っている事業について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、今後の仕事の取組みにいかにしていくものです。



事務事業の企画立案(PPLAN)、事業実施(DO)、点検・評価(CHECK)、改革・改善(ACTION)を継続して行うことで、より効果的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

◇ 基本理念

教育はひとづくり、人づくりはまちづくり

◇ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

◇ 教育目標

1. 町民の連携意識を高めながら、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

◇ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、基礎的・基本的学力の定着や考える力を身につけさせ、夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、学校と地域の協働による教育活動と家庭教育の充実に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに伝統文化の継承育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

【学校教育指導の方針と重点】

1. 方針

知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、教育は人づくりという視点に立って、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化

イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫

ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫

エ 主体的・体験的な学習のための環境づくりの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

ア 道徳的実践力を高める指導の工夫

イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進

ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫

イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫

ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫

エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上を図る指導の充実
- イ 運動に関する知識を身に付け、自ら健康な生活を実践できる指導の充実
- ウ 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導の充実
- エ 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) キャリア教育の推進

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、社会的・職業的自立ができるよう、必要な基盤となる資質、能力、態度の育成に努める。

- ア キャリア教育指導体制の整備・充実
- イ 将来の生き方指導・進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達の段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善、克服するとともに、そのもてる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう、一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の作成と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣をもつ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫

イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

ア 調和と統一のある教育課程の編成

イ 実態に即した指導計画の整備

ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

【社会教育指導の方針と重点】

1. 方針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 社会教育推進体制の整備・充実

ア 社会教育計画に基づく事業の展開に努める。

イ 社会教育施設機能の充実と活用の促進に努める。

ウ 社会教育関係団体等の活動の支援に努める。

(2) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進

ア 学校と地域の協働による教育活動の推進に努める。

イ 家庭教育支援・学習活動の充実に努める。

ウ キャリア教育の推進に努める。

(3) 多様な学習機会の拡充

ア 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。

イ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。

ウ 読書活動の推進に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。

イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。

ウ スポーツ・レクリエーション活動の普及促進に努める。

エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

【文化財保護行政の方針と重点】

1. 方針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し、広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

【学校給食重点目標】

- より安全、安心のおいしい給食を目指す。
- 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- 手作りの料理を心がける。
- 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

教育委員会事務事業一覧

◇学校教育指導の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
1	スクールサポーター支援員配置事業	18	学務課
2	スクールカウンセラー配置事業	18	〃
3	小学生国内交流事業	19	〃
4	就学指導委員会事業	19	〃
5	就学援助事業	20	〃
6	学校の芸術文化活動事業	21	〃
7	学校施設管理事業	21	〃
8	奨学金貸付事業	22	〃
9	特別支援教育就学奨励費補助事業	22	〃
10	中学生海外派遣事業	23	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	23	〃
12	教職員研修事業	24	〃
13	幼稚園就園奨励費補助事業	24	〃
14	町立幼稚園運営事業	25	幼稚園

◇社会教育指導の重点との関連

15	家庭教育セミナー	26	社会教育課
16	家庭教育講座(おもしろ体験教室)	26	〃
17	ふるさと“楽習”キャンプ	27	〃
18	青年教室	28	〃
19	まべち笑楽校	29	〃
20	南部ふるさと塾	30	〃
21	学校と地域ネット推進事業	31	〃
22	成人式	32	〃
23	南部町文化賞・スポーツ賞表彰式	33	〃
24	南部七唄七踊り全国大会	33	〃

◇文化財保護行政の重点との関連

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
25	文化財審議委員会議	34	史跡対策室・ 社会教育課
26	町内文化財パトロール事業	34	〃
27	南部学研究会	35	〃
28	奥州街道の整備・活用・普及事業	36	〃
29	国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理・公開活用	36	〃
30	史跡聖寿寺館跡調査整備委員会・整備実施計画の策定	37	〃
31	史跡聖寿寺館跡土地公有化事業	38	〃
32	史跡聖寿寺館跡の発掘調査	38	〃
33	史跡聖寿寺館跡の活用(見学・体験発掘・出前授業)	39	〃
34	伝統芸能・技術の継承事業	40	〃

◇社会教育指導の重点との関連

35	趣味の教室	41	公民館
36	ネイルアート教室	41	〃
37	アロマフィットネス講座	42	〃
38	英会話教室	42	〃
39	ルーシーダットン教室	43	〃
40	絵てがみ教室	43	〃
41	タブレット体験教室	44	〃
42	第8回町民運動会	45	体育館
43	第9回町民歩け歩け運動大会	45	〃
44	第30回うぐいすマラソン大会	46	〃
45	第4回総合優勝制スポーツ大会	47	〃
46	ニュースポーツフェスティバル	47	〃
47	ニュースポーツinスクール	48	〃
48	ニュースポーツ移動教室	49	〃

番号	事務事業名	ページ	担当課・所
49	転倒・寝たきり予防教室	50	B&G海洋センター
50	水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム	51	〃
51	B&G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	52	〃
52	B&G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業	52	〃
53	B&Gスポーツ大会青森県大会推進事業	53	〃
54	がんばろう東北！B&G海洋体験交流大会参加事業	53	〃
55	B&Gクリーンフェスティバルなんぶ	54	〃
56	初心者水泳教室	55	〃
57	小学校水泳教室	56	〃
58	第1回南部町駅伝競走大会	57	〃
59	第22回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業	58	〃

◇学校給食の重点目標

60	より安全・安心のおいしい給食を目指します。	59	学校給食センター
61	栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかめます。	59	〃
62	手作りの給食を心がけます。	60	〃
63	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。	60	〃
64	地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。	61	〃

事業毎個別評価の観点

1. 事業の評価

事務事業の実績の評価は、南部町の教育の施策に基づいて、各事務事業の担当者が事務事業評価表を作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- **計画性**：事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価します。
- **効率性**：コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性を評価します。
- **効果性**：総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する町民のニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価します。
- **妥当性**：町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎(期待どおり)	80%以上
評価が中位の事業	○(ほぼ達成)	60~80%
評価が低い事業	△(期待以下)	60%以下

2. 総合評価

総合評価は、1の「事業の評価」を踏まえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは 休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に休止・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

スクールサポーター支援員配置事業		事業の評価 ◎	
(1)授業の充実		総合評価 B	
概要	教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を小・中学校に配置する。		
実績	小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任教諭を支援する目的として各校に1名ずつ配置した。なお、1名あたり年間で950時間程度の勤務とした。		
	配置校	全12校（各1名）	
	事業費	小学校配置8名	8,468千円
		中学校配置4名	4,416千円
合計	12,884千円		
成果	学級担任教諭を支援することにより目の行き届いた指導ができるようになり、全児童生徒が授業や諸活動に集中できるようになった。		
評価と方向性	全12校に配置し、教育上特別な支援を必要とする、あるいは不安を抱える児童生徒への支援ができており、今後も継続して行く。		

スクールカウンセラー配置事業		事業の評価 ◎	
(1)授業の充実、(5)生徒指導の充実		総合評価 B	
概要	学校におけるいじめや不登校児童生徒の問題行動等の対応にあたり、臨床心理に関して高度で専門的な知識経験を有するスクールカウンセラーを配置、派遣し、教育相談体制の充実を図る。(県の事業)		
実績	児童生徒へのカウンセリング、教諭及び保護者に対するカウンセリングや助言・援助を行った。		
	配置校	名川中	
	派遣校	南部中・福田小	
	配置時間	320時間/年間	
事業費	県費負担		
成果	児童生徒にアンケート方式で相談活動を実施し、効率的なカウンセリングができた。		
評価と方向性	配置・派遣された学校では有効に活用され一応の成果が見られたが、毎年カウンセラー配置学校が変わるため派遣校では対応がうまく取れなかった学校があった。 カウンセラーは、1校に対し2～3年の継続が必要である。また、その他の学校に対する活用機会の体制づくりも必要である。		

小学生国内交流事業		事業の評価 ◎								
(1)授業の充実、(2)道徳教育の充実、(3)特別活動の充実		総合評価 B								
概要	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流を通して、ふるさとの歴史や自然等について、理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる児童の友情や愛郷心を育むことを目的とし、訪問地ならではの体験やゲームなどを行い交流を深める。									
実績	<p>今年度は、山梨県南部町の児童が来町(青森県と山梨県で隔年交互訪問)し、ゲームやいかだづくり体験活動等を行い児童の交流を深め、南部の歴史についての講義を聞くなど両町の歴史についての理解を深めた。</p> <table border="1"> <tr> <td>実施時期</td> <td>7/23～7/25</td> </tr> <tr> <td>当町参加児童</td> <td>30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>405千円</td> </tr> <tr> <td>当町参加者負担金</td> <td>3千円/名(一般会計の雑入90千円)</td> </tr> </table>		実施時期	7/23～7/25	当町参加児童	30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名	事業費	405千円	当町参加者負担金	3千円/名(一般会計の雑入90千円)
実施時期	7/23～7/25									
当町参加児童	30名(5・6学年)山梨県南部町参加児童 30名									
事業費	405千円									
当町参加者負担金	3千円/名(一般会計の雑入90千円)									
成果	<p>両町合わせて60名の児童たちの友情が芽生えた。</p> <p>両町の歴史的なつながりや互いの町について、南部氏の歴史講話やクイズなどの学習教室や聖寿寺跡の発掘体験を通して知ることができ、児童の愛郷心や探究心が育まれた。</p>									
評価と方向性	両町の歴史的なつながりを理解し、また愛郷心を育むことのできる事業であるため、今後も継続の予定である。									

就学指導委員会事業		事業の評価 ◎
(1)授業の充実、(7)特別支援教育の充実		総合評価 B
概要	幼児及び児童生徒について、専門的調査や検査を行って、就学期間等の適切な教育措置についての判断を行う。特別の支援を要する幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談を実施する。	
実績	<p>○ 判定件数</p> <p>幼児 6件</p> <p>児童 8件</p> <p>生徒 4件</p>	
成果	幼児及び児童生徒の検査結果により、特別の支援を要する者の保護者に対して専門的な指導、助言を行い、保護者が適正な就学先を選択することができた。	
評価と方向性	保育園、幼稚園、小・中学校からの相談について、専門的調査・検査を行って、各学校において保護者等への就学支援・相談業務を円滑に実施している。	

就学援助事業		事業の評価 ㊟												
(1)授業の充実		総合評価 B												
概要	<p>児童生徒に対し、学用品費・修学旅行費、給食費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。</p> <p>H26年度 認定基準</p> <p>○ 要保護：生活保護受給者</p> <p>○ 準要保護：次のいずれかの措置を受けた者で、前年度の所得が生活保護基準額の1.1倍以下の世帯に属する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生活保護受給停止または廃止 2. 世帯全員が市町村民税非課税世帯 3. 世帯全員が市町村民税の全額減免 4. 世帯全員が国民年金保険料を全額免除 5. 国民健康保険料(税)全額減免または徴収猶予 6. 児童扶養手当の全額受給 7. 世帯の経済状態が悪く、学校納付金の支払いが困難(収入指数1.1倍以下) 													
実績	<p>○ 要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 7名</td> <td>中学生 5名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>42千円</td> <td>183千円</td> </tr> </table> <p>※要保護児童生徒の、援助対象は修学旅行費のみである。 ※要保護児童生徒に係る事業費の1/2以内で国庫補助金あり。</p> <p>○ 準要保護児童生徒</p> <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 95名</td> <td>中学生 80名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,506千円</td> <td>9,018千円</td> </tr> </table>		認定者数	小学生 7名	中学生 5名	事業費	42千円	183千円	認定者数	小学生 95名	中学生 80名	事業費	6,506千円	9,018千円
認定者数	小学生 7名	中学生 5名												
事業費	42千円	183千円												
認定者数	小学生 95名	中学生 80名												
事業費	6,506千円	9,018千円												
成果	<p>経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して、必要な援助を適切に行うことができた。</p>													
評価と方向性	<p>義務教育の円滑な実施を図るために、今後も継続して実施していく。</p>													

学校の芸術文化活動事業		事業の評価 ○
(3)特別活動の充実		総合評価 B
概要	文化庁の事業として実施されている「次代を担う子どもの文化芸術体験事業(巡回公演事業・派遣事業)」を活用し、小中学校から希望を募り実施する。 本事業のうち派遣事業は、文化庁からの照会に対して、学校が事業内容を企画して・応募し、審査の結果により実施されるものである。	
実績	○ H26年度は、各学校に開催希望を募り、以下の希望があり事業を開催した。 ① 巡回公演事業 「狂言解説～狂言ってなあに?～」他:三宅狂言会(福地小学校 12/1) ② 派遣事業 茶道(福地小学校)9/11、10/30、11/20 … 110千円 えんぶり(杉沢小学校) 12/4、1/22 … 70千円	
成果	巡回公演事業では、文化芸術団体の公演を鑑賞したことで、児童が文化芸術と接することが出来たことにより、感性を養い、創造性を育むことができた。 また、派遣事業では茶道や地域の伝統芸能のえんぶりを体験したことで、感性や地域への関心、郷土愛が深めることができた。	
評価と方向性	文化庁の事業であるが、児童が文化芸術と接する機会を得ることができるため、今後もさらに体験する機会をつくっていく必要がある。	

学校施設管理事業		事業の評価 ◎
(教育施設環境の整備)		総合評価 A
概要	幼稚園、小・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。	
実績	小中学校の修繕及び施設整備工事の施工を実施した。 ・施設修繕 1,894千円(小中学校12校の施設修繕) ・施設整備 25,618千円(向小体育館証明器具改修工事ほか7件)	
成果	計画した小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し学校の環境整備が図られた。	
評価と方向性	施設の老朽化により必要な修繕・維持工事は実施している。 今後も、利便性向上のため修繕・維持工事を行っていく必要があるが、築25年以上経過した学校施設については、部分的補修ではなく、施設の全面改修工事の実施を検討する必要がある。 また、平成25年度に実施した非構造部材の耐震点検の結果を基に対策を実施し、地震時の安全対策を図る必要がある。	

奨学金貸付事業		事業の評価 ◎
(6)キャリア教育の推進		総合評価 B
概要	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共に健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	
実績	・貸付状況 ○平成26年度実績 ・貸付人数64名(新規採用者 12名) 高等学校 9名 ・ 専門学校 6名 ・ 短期大学 3名 ・ 大学 46名 ・貸付総額 29,050,000円 ・滞納状況 一般会計:19名 6,892,900円 奨学基金:16名 4,672,500円	
成果	将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。	
評価と方向性	経済上の理由から就学のための資金を必要としている者への貸付として、事業の継続が必要である。 現在は、貸付の決定は採用基準により実施している。 今後、貸付事業を継続していくために、採用基準の検討や返還滞納者へ働きかけを継続する。	

特別支援教育就学奨励費補助事業		事業の評価 ◎						
(7)特別支援教育の充実		総合評価 B						
概要	学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童生徒、特別支援学級等へ就学する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食費等の補助を行う。							
実績	○ 特別支援学級 <table border="1" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>認定者数</td> <td>小学生 2名</td> <td>中学生 4名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>57千円</td> <td>204千円</td> </tr> </table> ※事業費の1/2以内で国庫補助金あり。		認定者数	小学生 2名	中学生 4名	事業費	57千円	204千円
認定者数	小学生 2名	中学生 4名						
事業費	57千円	204千円						
成果	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減できた。							
評価と方向性	認定された児童生徒及び特別支援学級等へ就学する児童生徒の保護者の経済的負担や心の負担の軽減できる事業であるため、今後も継続していく。 将来を担う児童生徒が就学するための手助けとなった。							

中学生海外派遣事業		事業の評価 ○
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B
概要	研修テーマの、「挑戦～志をもって、仲間と協力し合い、積極的に活動～」を心に刻み、海外の歴史や文化・産業等の視察や現地の学生と交流を図り、国際感覚を養う。また、ホームステイの体験を通してコミュニケーション能力を養う。	
実績	町内4中学校の2学年から参加生徒を選抜し、6泊8日の日程でカナダのブリティッシュコロンビア州(バンクーバー)に派遣した。 現地では、ホームステイや体験型語学研修として学生と交流を図った。	
	派遣期間	10/24～10/31
	募集人員	35名
	参加生徒数	27名
	事業費	7,861千円
	参加者負担金	90千円/名 (一般会計の雑入 2,430千円)
成果	多感な時期に海外を訪問し、国際感覚やコミュニケーション能力を身に付けたことにより、積極性やリーダーシップに目覚め、学校内外の活動に取り組む姿勢等に変化が現れた。	
評価と方向性	今年度は、カナダ研修2年目で、ホームステイ先などで、より生の英語に触れる機会に恵まれた。また、町内の中学校の生徒が交流する貴重な機会となる。 諸外国との新学期の違いや学校の要望もあり、研修時期については、検討が必要である。	

語学指導外国語青年招致事業		事業の評価 ◎
(9)国際化に対応する教育の推進		総合評価 B
概要	英語を母国語とする外国語指導助手が児童生徒の身近にいることにより、英語能力の向上及び興味・関心を持つことを図る。	
実績	JETプログラム活用の外国語指導助手 1名 民間業者への委託の外国語指導助手 1名 ※委託料:1か月 372,600円 計2名を幼稚園・小中学校の英語指導の助手として配置した。	
	幼稚園では、月2回程度園児が英語に慣れるよう、発音練習や英語の唄を歌う等の指導を行った。 小中学校へは毎週訪問し、授業のほか、英会話スピーチコンテスト、中学生海外派遣事業の英会話指導を行った。	
成果	外国語指導助手の活用により、授業の質の向上や児童生徒の学力向上、幼稚園の英語教育の指導体制の充実が図られた。	
評価と方向性	平成26年7月より1名を民間業者へ委託し、今まで以上に英語指導が充実できるようになった。今後は、低学年から英語教育を指導できるよう、民間業者への委託人数を増やしていきたい。	

教職員研修事業		事業の評価 ○
(11)研修の充実		総合評価 C
概要	教職員の新採用者に対して、南部町の教育課程・文化歴史等について理解を深めてもらうことを目的に実施する。南部町の歴史、文化、各種事業の内容を理解し、教職員の認識向上を図り学習指導に取り入れている。	
実績	○南部町ふるさと研修(5/1) 対象者:2名 南部利康霊屋・聖寿寺館跡 現地説明(講師:社会教育課 永井 治) 町内施設等見学	
成果	町内の歴史や文化、施設等を知り、南部町の全体像を把握させることができた。	
評価と方向性	受講者の声・意見を聞いて、児童生徒の学習に役立つような研修内容(文化・歴史)になるよう、研修内容のステップアップを図る。 今後、事業名・研修内容の検討を行う。	

幼稚園就園奨励費補助事業		事業の評価 ◎										
(13)幼稚園教育の充実		総合評価 B										
概要	幼稚園教育の推進を図るため、また、就園児の保護者の経済的負担を軽減するため、世帯の所得に応じて、町立幼稚園は保育料の減免をし、私立幼稚園には補助金を交付している。											
実績	<p>○ 町立幼稚園</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者数</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>546千円</td> </tr> </table> <p>○ 私立幼稚園</p> <table border="1"> <tr> <td>幼稚園名</td> <td>あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 八戸文化幼稚園、八戸聖ウルスラ学院幼稚園</td> </tr> <tr> <td>対象者数</td> <td>53名</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>6,035千円</td> </tr> </table>		対象者数	15名	事業費	546千円	幼稚園名	あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 八戸文化幼稚園、八戸聖ウルスラ学院幼稚園	対象者数	53名	事業費	6,035千円
対象者数	15名											
事業費	546千円											
幼稚園名	あかね幼稚園、いずみ幼稚園、三戸紫苑幼稚園 八戸文化幼稚園、八戸聖ウルスラ学院幼稚園											
対象者数	53名											
事業費	6,035千円											
成果	幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減することができた。											
評価と方向性	今後も継続していく。											

町立幼稚園		事業の評価
(13)幼稚園教育の充実		○
		総合評価 B
概要	・名川幼稚園入園者数:3歳児 12名 ・ 4歳児 16名 ・ 5歳児 17名 合計 45名	
実績	<p>○名川幼稚園</p> <p>①教育目標 げんきにたのしくあそぶことも</p> <p>②教育課程 基本的な生活習慣を定着させ、自立の基礎を培う。 幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続について園内研修を実施した。</p> <p>③学校行事 5/3 春祭り 9/12 りんご狩り 2/27 名久井小学校訪問 その他、夕涼み会、運動会等に小学生を招待する。</p> <p>・遊具・用具 室内:積み木、ブロック、ままごと、縄跳び、ボール 他 室外:ブランコ、滑り台、雲梯、砂場 他</p> <p>・安全管理 避難訓令(地震、火事、不審者) ・交通安全指導</p> <p>・特別支援教育 教育相談や関係機関と連携し、随時実施した。</p> <p>・研 修 三戸郡幼稚園研究会研修 年2回、弘前大学教育学部附属幼稚園公開研究会 年1回 幼保小連携研修会、小学校授業参観 他</p> <p>・保護者との連携 園だより、個人面談、参観日、父母会の各種行事 他</p>	
成果	<p>恵まれた教育環境を有効活用し、豊かな体験を通して生きる力の基礎を培うことができた。</p> <p>幼保小連携部会の研修に参加し、園児と小学生の交流により、信頼感やあこがれの気持ちが芽生え向上心が育った。</p>	
評価と方向性	<p>創造性や言語能力の向上を目指し、各年齢に相応な自発的遊びを通し総合的な指導から一人ひとりの発達の特性に応じた指導に努める。</p> <p>保護者の保育ニーズを的確に捉えながら、限られた職員数の中ではあるが、より一層、幼稚園教育の充実を図りたい。</p> <p>小学生との交流を通して、就学への不安が払拭され、小学校へのスムーズな移行ができたので、今後も引き続き継続する。</p>	

事業毎個別評価表

◀ 社会教育指導の方針と重点 ▶

社会教育課関係 No.1

家庭教育セミナー		事業の評価	○	
(2)学校・家庭・地域の連携・協働の推進		総合評価	B	
概要	町内小学校及び乳幼児施設において心身の発達と子育てのあり方等を学ぶ講座を開催した			
実績	○ 町内乳幼児施設の要望に対応し講座を開催した。			
	参加者数	146名		
	開催回数	3回		
	開催場所	向小学校	8月	親子料理教室
		チェリー保育園	10月	子育てに関する講座
事業費	15千円(講師謝金)			
成果	町内小学校及び乳幼児施設の参観日等、保護者の集まる機会を利用し、様々なプログラムにより親子のふれあいが持たれ充実した内容となった。また、子育てに関する資質の向上が図られた。			
評価と方向性	<p>幼児期における心身の発達と子育てのありかたを学ぶ機会となった。</p> <p>参加者のアンケートによると概ね好評であり、もっと多くの開催を希望する。</p> <p>内容については良く、参加して非常に有意義であったとの意見が寄せられた。</p> <p>保護者の子育てに関する資質と能力の向上を図るうえで重要であるため、今後も継続していく。</p>			

家庭教育講座 (おもしろ体験教室)		事業の評価	○
(2)学校・家庭・地域の連携・協働の推進		総合評価	B
概要	親子でのいろいろな体験活動によるコミュニケーションやふれあいの時間を作るための講座を開催した		
実績	○ 親子での参加による体験活動型の講座を開催した。		
	参加者数	82名	
	開催回数	3回	
	開催場所	八戸ポートアイランド ほか	
	講座内容	8月：海釣り、12月：お正月しめ飾り・クリスマスリース	
事業費	38千円		
成果	<p>5回開催予定であったが、木工教室（7月）及びパルーンアート教室（1月）は参加希望がなかったため中止となった。親子で体験活動を行うことにより、会話がはずみコミュニケーションづくりの一助となった。</p> <p>※海釣りと木工教室については、三戸町と共同で計画した。</p>		
評価と方向性	<p>親子の参加による事業であったため、コミュニケーションづくりが図られ、事業の目的は概ね達成できた。</p> <p>今後については、内容、開催日、対象者を検討し継続したい。</p>		

ふるさと“楽習”キャンプ		事業の評価	○
(3)多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	野外での団体活動により、相互の交流を深め、自然体験を学ぶ野外体験活動を行った		
実績	○ 活動内容 共同生活、火おこし体験、野外炊事、ジェルキャンドルづくり、ドラム缶風呂流しそうめんづくり、カヌー体験、清掃活動		
	参加者数	14名(小学校4～6年生)	
	開催回数	1回(1泊2日)	
	開催日	8/7～8/8	
	開催場所	名川チェリリン村他	
	事業費	73千円	
	参加料	1.5千円(食材費、保険料)	
成果	野外でのテント生活やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラムを取り入れて行った。同世代や地域の方々との交流が図られ、団体行動により社会性や自主性を養う機会となった。		
評価と方向性	子どもたちの感想文からは、体験活動が楽しく行われたことが伺えた。さらに、地域の人たちとふれあうことで、豊かな人間性を培う機会となるとともに、地域の教育力向上が期待できるので事業の継続が望まれる。		

青年教室		事業の評価	◎
(3)多様な学習機会の拡充		総合評価	B
概要	<p>月1回程度の割合で、自発的な学習・体験・交流活動を行った。親睦を深め、同世代の「つながりの輪」を広げるとともに若者による町づくりを考える機会となった。</p>		
実績	<p>活動内容 ジェルキャンドル作り・フリートーク会・バーベキュー懇親会・成人式実行委員会協力・板柳町青年交流会・鍋の日懇談会・成人式協力・フィットネスエクササイズ</p>		
	参加者数	延べ50名	
	開催回数	9回	
	講座内容	青年教室 7/24・8/29・9/22・11/17・11/29・	
	開催日	12/22・1/11・2/7・3/7	
	開催場所	南部公民館 他	
	事業費	35千円(講師謝金)	
成果	<p>青年の興味・関心の多様化が進んでいるため、活動の中心となる青年で実行委員会を作り、様々な意見を取り入れて学習内容を設定した。 参加者数は内容によってばらつきがあるものの、情報交換・友人の誘い合い等から徐々に増加した。 また、県内外で仕事経験のある町内在住の講師による「これまでの経験から感じた南部町のよさ」などの講話は、今後の「町づくり」を考えるきっかけとなった。</p>		
評価と方向性	<p>現在は、町職員が7割、一般青年が3割の構成で実行委員会を組織し教室の内容を検討している。今後は町内在住の青年を多く巻き込み、町の青年組織と連携をとりながら教室を運営したい。青年の交流により、若者による将来の南部町を考える機会となるため継続が望まれる。</p>		

まべち笑楽校		事業の評価	◎																										
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B																										
概要	<p>月2回(第1・第3火曜)、高齢者(65歳以上)のいきがづくりをねらいとして、学校方式を模して学習活動を行った。</p> <p>地域の各種愛好者を指導者に迎え、学習内容を国語、算数、理科、社会、体育、音楽、家庭生活、図画工作、外国語、総合に置き換えた。</p>																												
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>20名</td> <td>男性6名</td> <td>女性14名</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td colspan="3">16回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">講座内容 開催日</td> <td>入学式</td> <td colspan="2">5/13</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">5/20、6/3、6/17、7/1、7/15、10/7、10/21 11/4、11/18、12/9、2/3、2/17、3/3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">開催場所</td> <td>卒業式</td> <td colspan="2">3/17</td> </tr> <tr> <td>修学旅行</td> <td colspan="2">11/12～13 小坂町、鹿角市方面</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td colspan="3">92千円(講師謝金、消耗品等)</td> </tr> </table>			参加者数	20名	男性6名	女性14名	開催回数	16回			講座内容 開催日	入学式	5/13			5/20、6/3、6/17、7/1、7/15、10/7、10/21 11/4、11/18、12/9、2/3、2/17、3/3		開催場所	卒業式	3/17		修学旅行	11/12～13 小坂町、鹿角市方面		事業費	92千円(講師謝金、消耗品等)		
参加者数	20名	男性6名	女性14名																										
開催回数	16回																												
講座内容 開催日	入学式	5/13																											
		5/20、6/3、6/17、7/1、7/15、10/7、10/21 11/4、11/18、12/9、2/3、2/17、3/3																											
開催場所	卒業式	3/17																											
	修学旅行	11/12～13 小坂町、鹿角市方面																											
事業費	92千円(講師謝金、消耗品等)																												
成果	<p>高齢者の自発的な活動をねらい、学習内容は話し合いで決めている。学習活動では、参加者の積極性が伺われ、常に笑いがあり明るい雰囲気の中での学習が出来た。教科内容については南部町に関わるものとするに努め、講師は主に町内在住者に依頼した。</p> <p>参加者からは、「他地区の人と知り合えた」、「色々な事が勉強できた」、「1年間楽しかった」などの感想が寄せられるなど、高齢者の学習意欲の向上が図られ、いきがづくりの一助となった。</p>																												
評価と方向性	<p>まべち笑楽校は2期生の卒業を終え、卒業者は39名となった。同窓会も組織され、今後、社会活動への参加も期待できる。</p> <p>まべち笑楽校の学習活動は参加者に好評であり、高齢者のいきがづくりとなるため、今後も継続が望ましい</p>																												

南部ふるさと塾		事業の評価 ◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	<p>南部藩発祥の地と云われる南部町は奥州南部氏の入部にはじまり、南北朝時代・室町時代を経て戦国時代に至るまで南部地方の政治・経済・文化の中心地であった。町内には今に至るまで南部氏に関わる城館跡や文化財・伝承が数多く残っている。南部ふるさと塾では、この歴史的な魅力あふれる地域性を活かし、南部地方の歴史に関連する各分野の研究者を講師として招き、町内外を問わず広く、郷土の歴史・伝統・文化を学習する場を提供することを目的としている。</p> <p>今年度のテーマは『実像 戦国時代の南部氏と北奥世界』。戦国時代の南部氏とその周辺勢力との対立と交流の歴史について、全6回のシリーズを展開した。</p>	
実績	<p>全体テーマ『実像 戦国時代の南部氏と北奥世界』</p> <p>移動講座 in 津軽</p> <p>見学場所 青森市中世の館・国史跡浪岡城跡・国史跡津軽氏城跡堀越城跡・石川城跡・大仏院</p> <p>参加者 26名 8/30</p> <p>第1回 岩手大学教授 菅野文夫氏『三戸南部氏と糠部の領主たち』 10/25</p> <p>参加者：188名 会場：町民ホール</p> <p>第2回 日本考古学協会会員 工藤清泰氏『浪岡北畠氏と北奥の戦国』 11/22</p> <p>参加者：156名 会場：町民ホール</p> <p>第3回 青森県文化財保護審議会委員長 今井二三夫氏『戦国時代の津軽と南部氏』 12/13</p> <p>参加者：154名 会場：町民ホール</p> <p>第4回 弘前高等学校長 瀧本壽史氏『本州アイヌの生活と文化～津軽アイヌと下北アイヌ』 1/31</p> <p>参加者：120名 会場：町民ホール</p> <p>第5回 八戸工大二高 教諭 熊谷隆次氏『南部信直と八戸政栄』 2/28</p> <p>参加者：191名 会場：町民ホール</p> <p>○ 事業費 150千円(講師謝金)</p>	
成果	<p>講座毎に毎回実施しているアンケートに基づき、次年度のテーマや講師を選定した。講師選定に当たっては、共催団体の町歴史研究会と協議し決定した。また、当日の受付等の会場運営を歴史研究会と共同で行った。</p> <p>2月28日に開催した第5回講座では平成18年度の事業開始以降、過去最高の191名が参加した。参加者は全体で835名を数え、前年度比で18%増加した。八戸市や二戸市等近隣市町村はもとより青森市、弘前市、七戸町、弘前市・盛岡市、久慈市、東京都等遠方からの参加者もあり、テーマを絞ったシリーズ化や周知活動が効果的に働いたと考えられる。はじめての参加者が26%を占め、新規参加者の開拓に成果があった。</p>	
評価と方向性	<p>町外の参加者に対し、歴史をとおして町をPRすることができた。南部町の歴史や文化財を地域資源として掘り起し、今後も講座をとおして町内外にPRするため継続が望まれる。</p>	

学校と地域ネット推進事業		事業の評価
(2) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進		◎ 総合評価 B
概要	小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家、愛好家に学校教育活動に講師として参加してもらい、児童・生徒の基礎的事項の定着を図り、地域に対する愛着の心を育むことを目的にした事業を行った。	
実績	○ 学校の要望に応じた講師（ゲストティーチャー）を派遣する。 学校が社会教育課へ計画書を提出する。講師との連絡調整は社会教育課が行う。	
	対象者	児童、生徒、一般
	講師	27名
	開催回数	160回
	開催場所	小・中学校
	事業費	376千円(講師謝金)
成果	<p>踊り・郷土芸能 — 名川音頭・山車作り・南部手踊り・えんぶり・ヒップホップダンス 学術・歴史 — 書道・発掘体験・文化財めぐり・奥州街道ウォーク 生活・産業 — 郷土料理・お菓子づくり・妊婦体験と赤ちゃん抱っこ体験・米作り・ジェルキャンドル作り・手洗い保健指導・トマト栽培・りんご栽培・コサージュ作成 趣味・娯楽 — 読み聞かせ・昔話語り 音楽・楽器 — サックス・三味線・歌作り その他 — 陸上指導・保健師の仕事</p> <p>町内学校への事業周知に力を入れた結果、開催数が前年度より20回程度増加した。しかし、学校教諭にはまだこの事業を知らない先生もいるため、今後の周知方法も考慮する必要がある。 講師は主に地域在住の方に依頼しているが、町内出身で県外在住の方より「地元へ貢献したい」とのことで協力を得られたケースもあった。また、健康福祉課との連携により講師依頼などスムーズに行うことができた。</p>	
評価と方向性	<p>文化・歴史・芸能等に精通している方や、地域在住の方に講師を依頼することにより、学校と地域の連携が見られた。</p> <p>今後の課題として、様々な分野の新規講師の発掘・確認とともに、関係各課との連携など臨機応変に対応する必要があると考える。</p> <p>学校教育・社会教育ともに学習効果が大きいため、今後も事業の継続が望まれる。</p>	

成人式		事業の評価 ㊟						
(1) 社会教育推進体制の整備・充実		総合評価 A						
概要	<p>成人式実行委員会 新成人自らの手で、大人への節目である成人式を作り上げることを目的として組織し、式典内の各代表や係分担、アトラクション他、企画・運営にかかわる様々な事項を協議した。</p> <p>成人式の開催 町連合青年団の協力により、式典・アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）・記念写真撮影を行った。</p>							
実績	<p>○ 開催日時 平成27年1月11日（日）13時00分～</p> <p>○ 開催場所 町民ホール（楽楽ホール）</p> <p>○ 事業費 431千円</p> <p>○ 事業内容 式典、アトラクション（実行委員会作成によるスライド上映）、記念写真撮影（記念品）</p> <table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>250名</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>194名</td> </tr> <tr> <td>実行委員会</td> <td>3回</td> </tr> </table>		対象者	250名	参加者数	194名	実行委員会	3回
対象者	250名							
参加者数	194名							
実行委員会	3回							
成果	<p>町連合青年団及び成人式実行委員会の協力・連携により、円滑に式典を進行できた。</p> <p>今後の課題として「新成人の控え室（おしゃべりする場所）」と「女性の新成人を降車させる場所」を考慮し、次回に対応したい。</p> <p>今回、新たに新成人を対象にアンケート調査を行った。町内・町外の居住率や町への思いなど、人口減少対策として、若者層の定住促進対策に取り組む上で参考となる結果が得られた。</p> <p>この結果を生かし、最初の取り組みとして町内在住の青年を主体とした青年活動を行い、町外在住者への地元意識を再確認する機会を得て、南部町で生活するような方策までつなげたい。</p>							
評価と方向性	<p>成人式を青年教育の一つとし、成人としての自覚と自己の責任を持つ決意を促すことができるよう、実行委員会の役割や町連合青年団との関わりを多く持たせ、将来の町の担い手となる新成人に「地域づくり」へ参加する機会となるよう、拡大・充実を図る。</p>							

事業毎個別評価表

◀ 社会教育指導の方針と重点 ▶

社会教育課関係 No.8

南部町文化賞・スポーツ賞表彰式		事業の評価	◎
(1) 社会教育推進体制の整備・充実		総合評価	B
概要	町の文化向上に貢献した者、町の体育・スポーツに振興発展に功績があった者を表彰した。		
実績	○ 開催日 2/14		
	○ 開催場所 町民ホール (楽楽ホール)		
	○ 事業費 220千円		
	文化功労賞	3名	
	文化賞	1団体、12名	
	文化奨励賞	1団体、52名	
	スポーツ功労賞	該当者なし	
スポーツ賞	1団体、16名		
スポーツ奨励賞	1団体、10名		
成果	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績のあった方々を表彰した。		
評価と方向性	町民の模範とみられる功績があった方々への賞であることと、受賞者には今後の励みとなることから継続が望まれる。		

南部七唄七踊り全国大会		事業の評価	◎	
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	B	
概要	南部七唄七踊りの啓発、普及、後継者育成を目的に大会を行った。			
実績	○開催日 9/28			
	○開催場所 町民ホール (楽楽ホール)			
	○実行委員会 年3回 大会の内容を協議			
	出場者数	七唄小学生の部	4名	
		七唄中・高生の部	8名	
		七踊り子どもの部	33名	
七踊り大人の部		25名		
事業費	2,900千円 (町補助金)			
成果	南部七踊りの大会が20回、南部七唄の大会が15回という節目の大会であったため、南部七唄七踊りの祭典では、大人の部での歴代優勝者による踊りが披露された。 大会出場者の大人の部の年齢層が若い世代に移行しているので後継者育成が進行している。			
評価と方向性	南部七唄七踊りは町の文化財にも指定され、多くの方々に支持されているため継続が望まれる。			

事業毎個別評価表

《 文化財保護行政の方針と重点 》

史跡対策室関係 No.1

文化財審議委員会議		事業の評価 ○
(1) 文化財の保護・保存		総合評価 B
概要	文化財審議委員会議の開催 文化財審議委員による町指定文化財候補物件の調査、文化財の指定	
実績	会議の開催日	5/26 委員6名出席・1/20 委員5名出席
	津軽氏城跡堀越城跡視察研修	7/16 委員5名出席
	三八地区文化財保護研究集会	10/17 委員4名出席 会場：ハートプラザはしかみ
	現地調査	2/4 委員4名出席
	事業費	128千円
成果	弘前市の津軽氏城跡堀越城跡で視察研修を行った。 新規に学秀作の仏像等を町指定文化財（田中家所蔵木造薬師如来立像・木造牛頭天王像・牛頭天王棟札・高森家所蔵木造薬師如来立像）として4件指定した。	
評価と方向性	町指定文化財の候補物件は毎年地道に調査し、所有者の了承を得た上で指定していく必要がある。	

町内文化財パトロール事業		事業の評価 ○
(1) 文化財の保護・保存		総合評価 B
概要	町内に所在する文化財について、パトロールを通して現状を把握し保護活動に努める。 パトロールの実施は、青森県文化財保護指導員と担当職員が行う。	
実績	主な業務	遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 土地開発等による埋蔵文化財の破壊や盗掘の有無の確認 文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握
	パトロール件数	26件 (内訳 国指定1件、国登録3件、県指定5件、埋蔵文化財17件)
	実施日	通年
	事業費	— 円
成果	文化財・埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握することができた。 ○27年度に県で発掘調査が実施される鳥舌内館の現状を把握した。	
評価と方向性	文化財・埋蔵文化財の保護には必要不可欠な事業であり、今後も継続してパトロールを実施する必要がある。	

南部学研究会		事業の評価 ◎
(2) 文化財の整備・活用		総合評価 A
概要	数年に一度、町民や県内外の人々を対象とし、最新の調査研究成果・発掘成果を通じて、史跡聖寿寺館跡をはじめとする南部町の歴史文化遺産を全国に発信することを目的とする。	
実績	○ 第2回南部学研究会『中世南部氏と北日本の中世城館』	
	開催日	10/5 9:45~16:10
	開催場所	町立町民ホール「楽楽ホール」
	開催内容	記念講演 小野正敏氏（人間文化研究機構前理事） 基調講演 齊藤利男氏（弘前大学教授） 研究発表1 永井 治（南部町教育委員会） 研究発表2 永井康雄氏（山形大学教授） 研究発表3 鈴木和子氏（青森県埋蔵文化財調査センター） 研究発表4 今野賀章氏（福島県伊達市教育委員会） 研究発表5 小島幸雄氏（新潟県上越市教育委員会） コーディネーター 伊藤正義氏（鶴見大学教授） ポスターセッション発表者 塚田直哉氏（北海道上ノ国町教育委員会） 榊原滋高氏（五所川原市教育委員会） 中田書矢氏（鱒ヶ沢町教育委員会） 船場昌子氏（八戸市教育委員会） 熊谷隆次氏（八戸工業大学第二高等学校教諭） 柴田知二氏（二戸市教育委員会） 紙上報告 布施 和洋（南部町教育委員会） 五十嵐祐介（秋田県男鹿市教育委員会） アトラクション「南部七唄七踊り」（南部町郷土芸能保存会） 無料提供鍋（南部町食生活改善推進委員会）
	対象者	町民及び周辺市町村民（年齢問わず）
	参加者	350名
	周知方法	町広報、ポスター掲示、町内放送、新聞記事掲載、NHKラジオ放送
	事業費	2,004千円（内 2,000千円が県市町村振興協会より助成）
	※後援：青森県教育委員会・青森県史跡整備市町村協議会・青森県考古学会・南部町歴史研究会・南部町商工会・南部町観光協会・NHK青森放送局・青森放送株式会社・株式会社青森テレビ・青森朝日放送株式会社・東奥日報社・デーリー東北新聞社・岩手日報社	
	成果	県内はもとより、北海道・岩手県・秋田県・宮城県・東京都・埼玉県・群馬県・栃木県・滋賀県など県外からも一定の参加者があり、南部藩発祥の地「南部町」のPRに一定の効果が認められた。特に町外の方々の南部氏や聖寿寺館跡の歴史に対する関心の高さが伺えた。
評価と方向性	南部町や南部藩発祥の地としての歴史、史跡聖寿寺館跡や周辺の文化財、これらに関連する歴史企画への需要は高いものと考えられ、企画の仕方では十分に集客力が期待できる分野であることがわかった。参加者の多くの方から第3回目の開催を望む声があった。今後も内容の充実に努め継続開催していく予定であるが、調査の成果や財政的な面から年次開催ではなく、2年に一回の開催を目標にしたい。	

奥州街道の整備・活用・普及事業		事業の評価 ○				
(1) 文化財の保護・保存		総合評価 B				
概要	南部町には、江戸時代に定められた五街道のひとつである「奥州街道」が南北に縦断している。 年2～3回、奥州街道の刈り払いを行い、管理・整備している。また、町の歴史を楽しく学ぶ奥州街道ウォークも実施し、活用している。					
実績	<table border="1"> <tr> <td>奥州街道ウォーク</td> <td>5/27 参加者18名 杉沢小学校6年生 10/30 参加者45名 向小学校・南部小学校6年生合同</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>— 円</td> </tr> </table> ※手作りパンフレットの作成・設置		奥州街道ウォーク	5/27 参加者18名 杉沢小学校6年生 10/30 参加者45名 向小学校・南部小学校6年生合同	事業費	— 円
奥州街道ウォーク	5/27 参加者18名 杉沢小学校6年生 10/30 参加者45名 向小学校・南部小学校6年生合同					
事業費	— 円					
成果	奥州街道沿いには数多くの文化財があり、街道を歩いて町の歴史を楽しく学ぶことは、一般の方はもとより児童にとっても新鮮に映ったようである。奥州街道についての問い合わせは、年間を通してあるため手作りパンフレットを社会教育課や三戸駅前の旅館に設置している。					
評価と方向性	奥州街道ウォークは、小学校等から一定のニーズがあり、今後も事業を継続していく。					

国指定重要文化財『南部利康霊屋』の保存管理・公開活用		事業の評価 ○														
(1) 文化財の保護・保存		総合評価 B														
概要	南部利康霊屋の保存管理として、除草・植木の手入れ・霊屋トイレの管理・修繕等周辺の環境整備を行う。 南部利康霊屋の公開・活用として、史跡対策室員が予約を受け拝観業務を行っている。 また、ぼたんまつり期間中は特別公開を実施している。 南部利康霊屋保存管理委員会は町の助成金の交付を受けている。(430千円)															
実績	<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">事業内容</td> <td>霊屋公園環境整備</td> <td>4月～11月</td> </tr> <tr> <td>霊屋拝観業務</td> <td>4月～11月</td> </tr> <tr> <td>ぼたんまつり：特別公開</td> <td>5月下旬～6月上旬</td> </tr> <tr> <td>南部利直命日法要</td> <td>8/18</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">事業費</td> <td>南部利康命日法要</td> <td>11/21</td> </tr> <tr> <td colspan="2">795千円(うち、430千円は保存管理委員会へ助成)</td> </tr> </table>		事業内容	霊屋公園環境整備	4月～11月	霊屋拝観業務	4月～11月	ぼたんまつり：特別公開	5月下旬～6月上旬	南部利直命日法要	8/18	事業費	南部利康命日法要	11/21	795千円(うち、430千円は保存管理委員会へ助成)	
事業内容	霊屋公園環境整備	4月～11月														
	霊屋拝観業務	4月～11月														
	ぼたんまつり：特別公開	5月下旬～6月上旬														
	南部利直命日法要	8/18														
事業費	南部利康命日法要	11/21														
	795千円(うち、430千円は保存管理委員会へ助成)															
成果	拝観にあたっては、他市町村の郷土史研究会関係の団体客の予約が多く見受けられた。															
評価と方向性	南部利康霊屋は貴重な国指定重要文化財であり、保存管理を継続していく。															

史跡聖寿寺館跡調査整備委員会・整備実施計画の策定		事業の評価 ◎														
(2) 文化財の整備・活用		総合評価 A														
概要	『史跡聖寿寺館跡』を史跡公園化として整備するため、平成 25 年度に策定した『史跡聖寿寺館跡整備基本計画書』に基づき、史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を設置し（平成 26 年 6 月 9 日）、史跡公園化に向けた整備内容について話し合う。平成 26 年度はコンサルを交えて具体的な整備内容と実施のための計画を協議し策定する。															
実績	<p>○ 史跡聖寿寺館跡調査整備委員会（委員 14 名）</p> <table border="1"> <tr> <td>第 1 回会議 6/9（月）</td> <td>町長が委嘱状を交付し、三浦圭介氏が委員長に選任される。 整備実施計画の基本方針と策定の進め方について協議</td> </tr> <tr> <td>視察研修 7/16（水）</td> <td>整備先進地 弘前市 津軽氏城跡堀越城跡の視察 担当者から整備の概略説明を受けたのち、現地視察を実施</td> </tr> <tr> <td>第 2 回会議 9/9（火）</td> <td>文化庁調査官を交えて、史跡公園化について協議 これまでの発掘調査成果についての検討 掘立柱建物や竪穴建物の遺構表示やバリアフリーの考え方について議論 便益施設や遊歩道設置についての検討</td> </tr> <tr> <td>第 3 回会議 12/16（火）</td> <td>整備の概算費用と整備項目について協議</td> </tr> <tr> <td>第 4 回会議 2/19（木）</td> <td>整備全体計画・トイレ・植栽の内容について協議</td> </tr> <tr> <td>3 月</td> <td>史跡聖寿寺館跡整備実施計画策定</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>5, 218 千円（町単費）</td> </tr> </table>		第 1 回会議 6/9（月）	町長が委嘱状を交付し、三浦圭介氏が委員長に選任される。 整備実施計画の基本方針と策定の進め方について協議	視察研修 7/16（水）	整備先進地 弘前市 津軽氏城跡堀越城跡の視察 担当者から整備の概略説明を受けたのち、現地視察を実施	第 2 回会議 9/9（火）	文化庁調査官を交えて、史跡公園化について協議 これまでの発掘調査成果についての検討 掘立柱建物や竪穴建物の遺構表示やバリアフリーの考え方について議論 便益施設や遊歩道設置についての検討	第 3 回会議 12/16（火）	整備の概算費用と整備項目について協議	第 4 回会議 2/19（木）	整備全体計画・トイレ・植栽の内容について協議	3 月	史跡聖寿寺館跡整備実施計画策定	事業費	5, 218 千円（町単費）
第 1 回会議 6/9（月）	町長が委嘱状を交付し、三浦圭介氏が委員長に選任される。 整備実施計画の基本方針と策定の進め方について協議															
視察研修 7/16（水）	整備先進地 弘前市 津軽氏城跡堀越城跡の視察 担当者から整備の概略説明を受けたのち、現地視察を実施															
第 2 回会議 9/9（火）	文化庁調査官を交えて、史跡公園化について協議 これまでの発掘調査成果についての検討 掘立柱建物や竪穴建物の遺構表示やバリアフリーの考え方について議論 便益施設や遊歩道設置についての検討															
第 3 回会議 12/16（火）	整備の概算費用と整備項目について協議															
第 4 回会議 2/19（木）	整備全体計画・トイレ・植栽の内容について協議															
3 月	史跡聖寿寺館跡整備実施計画策定															
事業費	5, 218 千円（町単費）															
成果	史跡聖寿寺館跡調査整備委員会を立ち上げ、具体的な実施のための計画について協議した。 平成 27 年度から 5 ヶ年で実施する予定の具体的な整備内容を示した整備実施計画を策定した。 ○成果品 A3 版 37 頁 60 部（簡易製本）															
評価と方向性	平成 25 年度に整備基本計画書を、平成 26 年度に整備実施計画をそれぞれ策定し、平成 27 年度から 31 年度までの 5 ヶ年で聖寿寺館跡を史跡公園として整備していく。															

史跡聖寿寺館跡土地公有化事業		事業の評価
(2) 文化財の整備・活用		○
		総合評価 B
概要	北東北最大の中世武士団であった南部氏の中心的城館である史跡聖寿寺館跡を保護保存し、史跡公園として整備するため、地権者の同意を得て聖寿寺館跡本体部分の土地を公有化する。 (国庫補助 8割 町負担 2割)	
実績	○ 公有化対象地 住所 南部町大字小向字館 34・35・41-1番地 字村中 51・53番地 面積 6,144 m ² ○ 事業費 37,846千円	
成果	史跡聖寿寺館跡本体のうち、出入口として重要な機能が想定される虎口2周辺の上段平場南側と下段平場北側を公有化した。	
評価と方向性	平成17年度に文化庁・青森県教育委員会・南部町教育委員会の連名で刊行した『史跡聖寿寺館跡保存管理計画』に基づき、史跡公園として必要な部分を優先し、公有化を進める必要がある。	

史跡聖寿寺館跡の発掘調査		事業の評価
(2) 文化財の整備・活用		○
		総合評価 A
概要	○ 平成5年から発掘調査を継続中 (国庫補助 5割補助) ・ 発掘調査期間 5/19～10/31 遺物整理期間 11/1～3/31 ・ 調査面積 約1036.91m ² 多数の掘立柱建物跡が検出された平成23年度調査区東側に主な調査区を設定 ・ 調査地点 城館平場西部～中央部、南西部虎口、中軸街路想定地	
実績	○ 調査で確認された事項 ・ 遺構としては主殿クラスの大型掘立柱建物跡・竪穴建物跡・溝跡・堀跡を確認。 ・ 遺物としては青磁碗・皿、白磁皿、染付碗・皿・盤、瀬戸美濃皿、越前甕等の陶磁器、角釘、銭貨等の金属製品、砥石、茶臼等の石製品。 ・ 東北初となる金箔土器や南部家最古の向鶴が刻まれた青銅製装飾品、威信財と考えられる元時代の染付盤・青磁瓶が出土した。 ○ 事業費：6,000千円 (国庫補助 3,000千円補助)	
成果	これまでの調査で最も良好に残る、大型の掘立柱建物跡を確認。また、大型掘立柱建物の柱穴やその周辺から東北で初の出土となる金箔を施したカワラケや、向鶴が施された青銅製装飾品が出土した。 南西部虎口はメインの虎口ではないことが判明し、15世紀末～16世紀前葉に城館の大改修があったことが確認された。	
評価と方向性	大型掘立柱建物や金箔カワラケ、向鶴青銅製品など20年間の発掘調査の歴史の中でも、遺構・遺物ともに最も良好な成果があがった。	

史跡聖寿寺館跡の活用（見学・体験発掘・出前授業）		事業の評価 ○																																	
(2) 文化財の整備・活用		総合評価 A																																	
概要	<p>史跡聖寿寺館跡の見学や体験発掘を通して、町の歴史を児童・生徒に現地で実際に体感してもらう体験型の学習プログラム。</p> <p>各学校での出前授業では、史跡対策室職員が講師となって、スライドを交えながら町の歴史を解説。</p>																																		
実績	<p>○ 体験発掘 小学校：7校 参加者数：144名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>実施内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5/27</td> <td>杉沢小学校体験発掘</td> <td>18名</td> </tr> <tr> <td>6/10</td> <td>名久井小学校体験発掘</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>6/16</td> <td>名川南小学校体験発掘</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>6/17</td> <td>田子町立上郷小学校体験発掘</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>6/30</td> <td>福地小学校体験発掘</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>7/3</td> <td>向小学校体験発掘</td> <td>26名</td> </tr> <tr> <td>8/25</td> <td>南部小学校体験発掘</td> <td>22名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 出前授業 小学校：1校 一般：1回 参加者数：47名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>実施内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4/28</td> <td>向小学校6年生 縄文学習出前授業</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>7/15</td> <td>まべち笑楽校 郷土史出前授業</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 史跡聖寿寺館跡見学者 207名</p> <p>○ 事業費 一 円</p>		実施日	実施内容	参加者	5/27	杉沢小学校体験発掘	18名	6/10	名久井小学校体験発掘	31名	6/16	名川南小学校体験発掘	8名	6/17	田子町立上郷小学校体験発掘	17名	6/30	福地小学校体験発掘	22名	7/3	向小学校体験発掘	26名	8/25	南部小学校体験発掘	22名	実施日	実施内容	参加者	4/28	向小学校6年生 縄文学習出前授業	27名	7/15	まべち笑楽校 郷土史出前授業	20名
実施日	実施内容	参加者																																	
5/27	杉沢小学校体験発掘	18名																																	
6/10	名久井小学校体験発掘	31名																																	
6/16	名川南小学校体験発掘	8名																																	
6/17	田子町立上郷小学校体験発掘	17名																																	
6/30	福地小学校体験発掘	22名																																	
7/3	向小学校体験発掘	26名																																	
8/25	南部小学校体験発掘	22名																																	
実施日	実施内容	参加者																																	
4/28	向小学校6年生 縄文学習出前授業	27名																																	
7/15	まべち笑楽校 郷土史出前授業	20名																																	
成果	<p>小学校7校144名が体験発掘に参加した。町内外の小学生が体験発掘や出前授業をとおして、教科書では知りえない郷土の歴史を、体感することにより中世南部氏の歴史伝統を伝えることが出来た。</p> <p>学校からは、継続して出前授業や体験発掘のニーズがあり、郷土の歴史学習に対し効果をあげている。</p>																																		
評価と方向性	<p>地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、今後も町内の学校と連携し、児童・生徒に郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、郷土に誇りをもてるような郷土史学習プログラムを推進していきたい。</p>																																		

伝統芸能・技術の継承事業		事業の評価 ○												
(3) 伝統芸能・技術の継承		総合評価 B												
概要	郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。													
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">助成団体</td> <td>南部町郷土芸能保存会 (1団体)</td> <td>370千円</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財保存・活用事業 (13団体)</td> <td>260千円</td> </tr> <tr> <td>無形民俗文化財後継者育成事業 (9団体)</td> <td>180千円</td> </tr> <tr> <td>郷土芸能後継者育成事業 (南部七唄七踊り子ども教室)</td> <td>450千円</td> </tr> </tbody> </table>			実施内容	事業費	助成団体	南部町郷土芸能保存会 (1団体)	370千円	無形民俗文化財保存・活用事業 (13団体)	260千円	無形民俗文化財後継者育成事業 (9団体)	180千円	郷土芸能後継者育成事業 (南部七唄七踊り子ども教室)	450千円
		実施内容	事業費											
	助成団体	南部町郷土芸能保存会 (1団体)	370千円											
		無形民俗文化財保存・活用事業 (13団体)	260千円											
		無形民俗文化財後継者育成事業 (9団体)	180千円											
郷土芸能後継者育成事業 (南部七唄七踊り子ども教室)		450千円												
<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2・第4土曜日に町内公民館で、南部七唄・七踊り子ども教室を実施町郷土芸能保存会の会員が講師となり指導 (町内の小・中学生が参加)。 ○ 毎年2月の南部地方えんぶりに補助金を交付 230千円。 														
成果	町指定の無形民俗文化財の継承活動のために有効に活用され、後継者の育成に役立っている。													
評価と方向性	伝統芸能の保存と次世代への継承には必要不可欠な事業であり、南部町郷土芸能保存会や郷土芸能の継承者より事業の継続の要望が寄せられており、今後も継続して助成していく。													

趣味の教室		事業の評価 ◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	自己の知識・能力の向上を図ることを目的に、町民が興味・関心のある教室を開講した。	
実績	○ 町民の希望による教室 24講座 生け花、エアロビクス、英会話(中級)、カラオケ、さわやかリズム体操、女声コーラス、混声コーラス シルバーコーラス、詩吟教室、社交ダンス、写真・絵画、太極拳、陶芸、ヨガ、南部手踊り、パソコン 舞踊、フレッシュレクダンス、パッチワーク、よさこい、リフレッシュ体操、名川カラオケ研究 ブックトーク、スポーツダンス	
	登録者数	361名
	開催期間	5月～2月(月2回以上開催)
	開催場所	町内公民館、体育館、B&G海洋センター、伝承館等
	事業費	1,842千円(講師謝金)
成果	受講者の自主的な運営のため真剣に取り組まれており、学習意欲が高く、目的に沿った内容となっている。 受講生による実行委員会が組織され、3月には学習成果を披露する発表会が行われた。	
評価と方向性	閉講式の際に次年度の受講希望をとっているが、ほとんどの教室が継続希望であるため、継続が望まれる。	

ネイルアート教室		事業の評価 △
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 D
概要	ネイルアートを通じての仲間づくりや心身のリフレッシュ等、潤いのある生活の一助となるよう開催した。	
実績	○ ネイルアートに関する講義と実習	
	登録者数	4名
	参加者数	延べ15名
	開催回数	5回(6/18～7/16)
	開催場所	南部公民館
事業費	50千円(講師謝金)	
成果	参加者それぞれが自分なりのネイルを完成させた。	
評価と方向性	一昨年から開催し、今年で3回目の講座となるが、募集人員15名に対し4名の参加であった。 ネイルアートに関しては基礎的要素の学習は完了したと判断し、一旦終了する。	

アロマフィットネス教室		事業の評価 ○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助となるよう開催した。	
実績	○ アロマフィットネスに関する講義と演習	
	登録者数	20名
	参加者数	延べ157名
	開催回数	10回 (10/1~12/3)
	開催場所	福地公民館
	事業費	100千円(講師謝金)
成果	香りと運動による健康づくり・健康管理について体を動かしながら学習した。	
評価と方向性	専門知識を学べる機会となるため参加者には大変好評でした。 健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、参加者からは継続を望む声があるため継続が望まれる。	

英会話教室		事業の評価 ○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、英語での簡単な日常会話ができるよう開催した。	
実績	○ 英会話に関する講義と演習	
	登録者数	16名
	参加者数	延べ152名
	開催回数	13回 (9/9~12/9)
	開催場所	福地公民館
	事業費	221千円(講師謝金)
成果	昨年度から入門、初級のクラス分けをせずに授業を行っているが、問題なく行われた。 参加者の学習態度は極めて意欲的で、自主的な運営がなされ、外国人講師による本物の英語を学ぶ良い機会となった。	
評価と方向性	学習方法や内容は充実しており、参加者からの継続希望が強いため、継続が望まれる。	

ルーシーダットン教室		事業の評価 ○
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	ルーシーダットン（タイ式ヨガ）の特徴である呼吸法を実践しながら様々なポーズを学び、体全体の血液やリンパの流れをスムーズにし、健康維持の一助となるよう開催した。	
実績	○ ルーシーダットンに関する講義と実習	
	登録者数	25名
	参加者数	延べ162名
	開催回数	10回（8/25～11/17）
	開催場所	福地公民館
	事業費	100千円（講師謝金）
成果	心と体の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲も高かった。	
評価と方向性	受講者からの継続の声が大きく、今後も継続が望まれる。 ※平成23年度から開講し今年度で4年目となり、受講者も定着しつつあるため、受講者による自主的な運営ができるよう指導し、趣味の教室への移行を促す。	

絵てがみ教室		事業の評価 ◎
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 B
概要	日本の美術作品を参考に、日常生活の素直な感動を自分らしく表す「絵てがみ」の書き方を学び、自己の感性を高めるため開催した。	
実績	○ 絵てがみの作成に関する講義と実習	
	登録者数	23名
	参加者数	延べ102名
	開催回数	5回（9/10～10/8）
	開催場所	南部公民館
	事業費	50千円（講師謝金）
成果	絵てがみをつくることによって、表現力を高めることが出来た。お互いの作品を披露した。	
評価と方向性	今年度で2回目の開催であったが、募集人員を上回る参加希望があり、多くの参加者から継続を望む声があり継続が望まれる。	

タブレット体験教室		事業の評価 ㊟
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価 A
概要	現在普及している、スマートフォン・タブレットの操作を学習し知識教養を身につける講座を開催した。	
実績	○ タブレット（タッチパネル端末）の操作に関する講義と実習 ※タブレット台数：10台 講師：NTT東日本八戸営業部職員	
	申込者数	75名
	参加者数	75名
	開催回数	8回（4/18・5/9・3/5・3/6） 午前、午後に分けて開催
	開催場所	福地公民館
	事業費	— 円
成果	NTT職員のサポートにより、タブレットを実際に操作し、インターネット等を体験しながら学習し知識を身につけた。多くの方に対応するため一人1回の参加で行った。	
評価と方向性	昨年度から引き続き無料体験教室を開催したが、参加の申し込みが多く、今後も開催を望む声があるため継続が望まれる。 ※町単独での開催は難しいため、NTT東日本と連携しながら開催する。	

事業毎個別評価表

◀ 社会教育指導の方針と重点 ▶ 社会教育課関係 (体育館) No.1

第8回 町民運動会		事業の評価 ㊟								
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 B								
概要	町民の健康増進と町民相互の親睦を深め健康で明るく住みよい町づくりに寄与し、明日への活力を養うため開催。 15競技種目に、小学生から60歳以上の競技種目において地区対抗戦として実施。									
実績	<table border="1"> <tr> <td>参加者数</td> <td>18チーム (役員及び選手数 1,780名)</td> </tr> <tr> <td>開催日</td> <td>10/12</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部中学校</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,475千円</td> </tr> </table>		参加者数	18チーム (役員及び選手数 1,780名)	開催日	10/12	開催場所	南部中学校	事業費	1,475千円
参加者数	18チーム (役員及び選手数 1,780名)									
開催日	10/12									
開催場所	南部中学校									
事業費	1,475千円									
成果	町民相互の融和と年代各層の親睦と交流が図られた。									
評価と方向性	各チーム、スポーツ推進委員、スポーツ指導員へのアンケートにより、運営及び種目の検討を図り、今年度の開催に反映させた。 町民の健康増進と親睦を深めるとともに、今後も、運営方法・競技内容等についてのアンケートにより改善を図っていく。									

第9回 町民歩け歩け運動大会		事業の評価 ㊟										
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価 A										
概要	町民の体力づくりと参加者相互の親睦を深めるとともに、日常生活の中で歩くことの重要性を再認識することで、健康で明るい町づくりに寄与することを目的に毎年度開催。 毎年、スポーツ推進委員等により企画したコースで参加者を募集し、町民バスにて実施場所へ移動・設定した目標地点まで全参加者でトレッキングする。											
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>南部町一般成人</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>145名</td> </tr> <tr> <td>実施日</td> <td>9/14</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>青森県西目屋村暗門の滝</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>201千円</td> </tr> </table>		対象者	南部町一般成人	参加者数	145名	実施日	9/14	実施場所	青森県西目屋村暗門の滝	事業費	201千円
対象者	南部町一般成人											
参加者数	145名											
実施日	9/14											
実施場所	青森県西目屋村暗門の滝											
事業費	201千円											
成果	天候に恵まれ、目標地点まで全参加者が踏破でき、参加者の健康増進が図られた。											
評価と方向性	歩くことは個々の体力に合わせた手軽な運動であり、町民の体力づくり、健康の維持・増進に必要と考えられることから、今後、多くの参加者を集めるため、参加者等の意見を参考に、新たなコース設定を計画するなど、目的達成のため事業展開を図っていく。											

第30回うぐいすマラソン大会		事業の評価	◎		
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B		
概要	健康増進と参加者相互の親睦と融和を図るため開催。 男女各 3km,5km,10km のコースで体力に応じた種目別区分を設定。 参加募集方法は町広報誌と町ホームページにて募集。				
実績	○ 対象者	健康で、所定の距離を完走できる者			
	○ 申込者数	754名 (平成 25 年度 702 名)			
	○ 参加者数	629名 (平成 25 年度 629 名) うち町民参加者数 151 名			
	○ 開催日	4/20			
	○ 開催場所	ふくち運動公園多目的広場			
	○ 事業費	560 千円			
	○ 天候	晴れ			
	○ 参加料	無料			
		コース	申込者 (名)	参加者 (名)	うち町民 (名)
		A 小学校 3 年生以下男子 3km	42	38	22
		B 小学校 3 年生以下女子 3km	32	30	15
		C 小学校 4~6 年生男子 3km	51	41	32
		D 小学校 4~6 年生女子 3km	43	39	18
		E 中学生男子 3km	22	21	15
		F 中学生女子 3km	11	10	5
	G 高校・一般男子 3km	34	24	6	
	H 高校・一般女子 3km	22	13	0	
	I 高校・一般男子 5km	92	70	7	
	J 高校・一般女子 5km	30	24	1	
	K 高校・一般男子 10km	266	218	6	
	L 高校・一般女子 10km	51	45	0	
	M 誰でも参加 (計測なし) 3km	58	56	24	
	計	754	629	151	
成果	天候にも恵まれ、春のふくち路を堪能され、参加者の親睦と融和が図られた。 また、事故などもなく無事終了した。				
評価と方向性	参加募集方法を変更し 2 回目の大会となったが、昨年より参加申込者が 50 名ほど増え、経費削減 (郵便料) の影響はないものと思われる。 今後とも、参加者の安全と経費負担等見直しを図りながら、大会を開催する。				

第4回総合優勝制スポーツ大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	6競技種目別における町内対抗スポーツ大会。結果発表は、町民運動会で行う。 (グラウンド・ゴルフ、壮年ソフトボール、ペタンク、バウンドテニス、軟式バレー、ユニホック)		
実績	○ 対象者 一般成人による町民運動会チーム単位の18チームが参加対象 (バウンドテニス大会から始まってペタンク大会で終わる。)		
	○ 事業費 170千円		
	種目	開催日	開催場所
	1バウンドテニス大会	平成25年12月15日	名川B&G海洋センター
	2軟式バレーボール大会	平成26年1月26日	町民体育館
	3ユニホック大会	平成26年3月2日	町民体育館
	4グラウンド・ゴルフ大会	平成26年6月1日	あけぼの多目的広場
5壮年ソフトボール大会	平成26年6月29日	南部中学校 他	
6ペタンク大会	平成26年7月27日	すば一く・ながわ	
参加チーム	13	14	15
成果	4年目となり、「総合優勝制スポーツ大会」が各地域に浸透してきた。 また、各チーム(地区)の競技力が向上してきている。		
評価と方向性	各種目に参加するチームが徐々に増えており、スポーツ人口の底辺拡大とスポーツの日常化が図られている。 今後は、各種大会の結果を積極的に広報に掲載するなど、更に意識の向上を高め大会を盛り上げるとともに、体育協会加盟団体と連携を密にし、種目等の充実を図っていく。		

ニュースポーツフェスティバル		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	本年度は、バウンドテニス大会と併せ、出場者等を対象に町内に住む40歳から70歳までの中高年の方の体力テストを実施した。		
実績	対象者	南部町民	
	参加者数	70名	
	開催日	12/15	
	開催場所	名川B&G海洋センター	
	事業費	37千円	
成果	一般の参加者と、バウンドテニス大会の出場者を併せ、体力テストを行い、日頃からの運動・体力づくりの大切さを認識できた。		
評価と方向性	ニュースポーツは、だれでも手軽に取り組むことができることから、今後も種目の精査を図りながら広めていく。		

ニュースポーツ in スクール		事業の評価	○														
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A														
概要	青少年のスポーツ活動の充実とスポーツの普及を図るため、町内の小・中学校の要望に応じてニュースポーツ教室を実施。																
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>町内小・中学生</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>スポーツ指導員 20名</td> </tr> <tr> <td>依頼者</td> <td>名久井小学校 4年生から 6年生 (名久井小学校はクラブ活動の一環としてニュースポーツ in スクールを申込みしている。)</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>延べ 234名 (名久井小ニュースポーツクラブ 13名)</td> </tr> <tr> <td>状況</td> <td>・バウンドテニス : 5/8~6/12 3回、 ・ユニホック : 6/26~12/1 7回 ・ドッチビー : 1/22~3/5 3回</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>名川 B&G 海洋センターアリーナ</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>40千円</td> </tr> </table>			対象者	町内小・中学生	講師	スポーツ指導員 20名	依頼者	名久井小学校 4年生から 6年生 (名久井小学校はクラブ活動の一環としてニュースポーツ in スクールを申込みしている。)	参加者数	延べ 234名 (名久井小ニュースポーツクラブ 13名)	状況	・バウンドテニス : 5/8~6/12 3回、 ・ユニホック : 6/26~12/1 7回 ・ドッチビー : 1/22~3/5 3回	開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ	事業費	40千円
対象者	町内小・中学生																
講師	スポーツ指導員 20名																
依頼者	名久井小学校 4年生から 6年生 (名久井小学校はクラブ活動の一環としてニュースポーツ in スクールを申込みしている。)																
参加者数	延べ 234名 (名久井小ニュースポーツクラブ 13名)																
状況	・バウンドテニス : 5/8~6/12 3回、 ・ユニホック : 6/26~12/1 7回 ・ドッチビー : 1/22~3/5 3回																
開催場所	名川 B&G 海洋センターアリーナ																
事業費	40千円																
成果	名久井小学校 4年生から 6年生のニュースポーツクラブからの要望だけで、ニュースポーツ活動としては思わしくなかったが、ニュースポーツの楽しみは、参加児童へ伝わったものと思われる。																
評価と方向性	町内小・中学校の児童生徒に、ニュースポーツレクリエーションの普及促進が図られていると思われる。 現状は名久井小からの要望のみであるが、「in スクール」はニュースポーツの普及に効果的な事業と考えられるので、今後は、他の小・中学校からも利用できるような積極的な広報活動を行っていく。																

ニュースポーツ移動教室		事業の評価	◎																																														
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																																														
概要	町内の各種団体からの要望により、場所を問わず出向きニュースポーツ移動教室を開催して、ニュースポーツ普及と地域住民の健康維持及び増進を図る。																																																
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 町内各種団体 ○ 参加者数 317名 ○ 講師 スポーツ推進委員1名、スポーツ指導員11名 ○ 事業費 18千円 ○ 事業内容 																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 35%;">依頼者</th> <th style="width: 15%;">開催日</th> <th style="width: 20%;">場所</th> <th style="width: 15%;">種目</th> <th style="width: 15%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>6/7</td> <td>南部小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>向小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>6/8</td> <td>向小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校4年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>6/14</td> <td>剣吉小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>南部小学校3年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/5</td> <td>南部小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/6</td> <td>向小体育館</td> <td>ドッチビー</td> <td>51</td> </tr> <tr> <td>名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/19</td> <td>名川 B&G 海洋 センター アリーナ</td> <td>ドッチビー</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校6年生PTA (親子レクリエーション)</td> <td>7/20</td> <td>名川チェリリン 村</td> <td>グラウンド・ ゴルフ</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>杉沢町内会</td> <td>11/28</td> <td>杉沢中体育館</td> <td>バウンドテニス</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>				依頼者	開催日	場所	種目	参加者数	南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	6/7	南部小体育館	ドッチビー	34	向小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	6/8	向小体育館	ドッチビー	51	剣吉小学校4年生PTA (親子レクリエーション)	6/14	剣吉小体育館	ドッチビー	44	南部小学校3年生PTA (親子レクリエーション)	7/5	南部小体育館	ドッチビー	26	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/6	向小体育館	ドッチビー	51	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/19	名川 B&G 海洋 センター アリーナ	ドッチビー	70	剣吉小学校6年生PTA (親子レクリエーション)	7/20	名川チェリリン 村	グラウンド・ ゴルフ	26	杉沢町内会	11/28	杉沢中体育館	バウンドテニス	15
	依頼者	開催日	場所	種目	参加者数																																												
	南部小学校1年生PTA (親子レクリエーション)	6/7	南部小体育館	ドッチビー	34																																												
	向小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	6/8	向小体育館	ドッチビー	51																																												
	剣吉小学校4年生PTA (親子レクリエーション)	6/14	剣吉小体育館	ドッチビー	44																																												
	南部小学校3年生PTA (親子レクリエーション)	7/5	南部小体育館	ドッチビー	26																																												
	向小学校2年生PTA (親子レクリエーション)	7/6	向小体育館	ドッチビー	51																																												
	名久井小学校5年生PTA (親子レクリエーション)	7/19	名川 B&G 海洋 センター アリーナ	ドッチビー	70																																												
	剣吉小学校6年生PTA (親子レクリエーション)	7/20	名川チェリリン 村	グラウンド・ ゴルフ	26																																												
杉沢町内会	11/28	杉沢中体育館	バウンドテニス	15																																													
成果	毎年、団体等の要望に沿って実施しており、広くニュースポーツが普及してきている。特に、学校における「親子レクリエーション」として活用されている。																																																
評価と方向性	指導者が出向き、ニュースポーツを体験できるため、利用者に変な喜ばれている。今後も、広報活動に力を入れ、移動教室の利用者を増やしていく。																																																

転倒・寝たきり予防教室		事業の評価	◎																
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																
概要	町内 3 地区において、介護サービスを受けていない高齢者を対象とした 12 回の転倒予防プログラム(運動指導、栄養士や薬剤師の講話など)及び各種測定を実施。 高齢者の介護予防にもつながることから健康福祉課と共催している。																		
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者</td> <td>介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>南部地区：18 名 (延べ 175 名) 福地地区：21 名 (延べ 201 名) 名川地区：24 名 (延べ 238 名)</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>合計 36 回 (12 回/1 地区)</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>南部地区：平成 26 年 5 月～7 月 福地地区：平成 26 年 9 月～11 月 名川地区：平成 27 年 1 月～3 月</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>健脚度測定 (10m 全力歩行、最大一歩幅、40cm 踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導 (つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測</td> </tr> <tr> <td>講師</td> <td>運動指導士 2 名、薬剤師 1 名、栄養士 1 名 計 4 名</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td>南部公民館 (南部地区)、福寿館 (福地地区)、名川 B&G 海洋センター (名川地区)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>92 千円</td> </tr> </table>			対象者	介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民	参加者数	南部地区：18 名 (延べ 175 名) 福地地区：21 名 (延べ 201 名) 名川地区：24 名 (延べ 238 名)	開催回数	合計 36 回 (12 回/1 地区)	開催期間	南部地区：平成 26 年 5 月～7 月 福地地区：平成 26 年 9 月～11 月 名川地区：平成 27 年 1 月～3 月	事業内容	健脚度測定 (10m 全力歩行、最大一歩幅、40cm 踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導 (つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測	講師	運動指導士 2 名、薬剤師 1 名、栄養士 1 名 計 4 名	開催場所	南部公民館 (南部地区)、福寿館 (福地地区)、名川 B&G 海洋センター (名川地区)	事業費	92 千円
対象者	介護サービスを受けていない 60 歳以上の町民																		
参加者数	南部地区：18 名 (延べ 175 名) 福地地区：21 名 (延べ 201 名) 名川地区：24 名 (延べ 238 名)																		
開催回数	合計 36 回 (12 回/1 地区)																		
開催期間	南部地区：平成 26 年 5 月～7 月 福地地区：平成 26 年 9 月～11 月 名川地区：平成 27 年 1 月～3 月																		
事業内容	健脚度測定 (10m 全力歩行、最大一歩幅、40cm 踏み台昇降)、介護予防運動、歩行指導 (つぎ足歩行)、筋力トレーニング、リズム体操 レクリエーション、ニュースポーツ(グランドゴルフ、ニチレクボール) 各種講話(栄養指導、薬の正しい飲み方)、 骨密度・筋肉量計測																		
講師	運動指導士 2 名、薬剤師 1 名、栄養士 1 名 計 4 名																		
開催場所	南部公民館 (南部地区)、福寿館 (福地地区)、名川 B&G 海洋センター (名川地区)																		
事業費	92 千円																		
成果	介護予防運動を通じ、日常生活動作の中でも特に転倒に関わるバランス感覚や「歩く」、「またぐ」、「昇り降り」という日常生活での移動動作の向上や、集団でのレクリエーションも取り入れ、楽しく参加者相互の健康増進に寄与した。																		
評価と方向性	教室の初回と最終日に健脚度測定を実施し、転倒に関わるバランス感覚や移動動作の向上が確認でき、当事業の運動指導による運動機能改善を図ることができた。また、運動機能だけでなく、栄養士や薬剤師の講話により、食事面などの日常生活で役に立つ知識を得る機会となり、今後も当事業を継続していく。																		

水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム		事業の評価	◎										
(3) 多様な学習機会の拡充		総合評価	A										
概要	自然環境、水生生物、安全学習、海洋性レクリエーション等についての体験や実験、物づくりのカリキュラムの中から、町内小学校に申込みを募り、申込小学校ごとのプログラムを作成し実施。												
実績	<table border="1"> <tr> <td>対象者数</td> <td>福田小学校：4学年 27名 名久井小学校：4学年 22名 名川南小学校：1・2学年10名 3・4学年10名 5・6学年7名 南部小学校：4学年 27名</td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>福田小学校：8回 名久井小学校：7回 名川南小学校：11回 南部小学校：1回</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td>平成26年4月～平成27年3月</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・福田小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖、名川B&G海洋センタープール、 ・名久井小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B&G海洋センタープール、 ・名川南小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖 ・南部小学校： 如来堂川 </td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>32千円</td> </tr> </table>			対象者数	福田小学校：4学年 27名 名久井小学校：4学年 22名 名川南小学校：1・2学年10名 3・4学年10名 5・6学年7名 南部小学校：4学年 27名	開催回数	福田小学校：8回 名久井小学校：7回 名川南小学校：11回 南部小学校：1回	開催期間	平成26年4月～平成27年3月	開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・福田小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖、名川B&G海洋センタープール、 ・名久井小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B&G海洋センタープール、 ・名川南小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖 ・南部小学校： 如来堂川 	事業費	32千円
対象者数	福田小学校：4学年 27名 名久井小学校：4学年 22名 名川南小学校：1・2学年10名 3・4学年10名 5・6学年7名 南部小学校：4学年 27名												
開催回数	福田小学校：8回 名久井小学校：7回 名川南小学校：11回 南部小学校：1回												
開催期間	平成26年4月～平成27年3月												
開催場所	<ul style="list-style-type: none"> ・福田小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖、名川B&G海洋センタープール、 ・名久井小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、名川B&G海洋センタープール、 ・名川南小学校： 如来堂川、馬淵川さけ・ます増殖漁業協同組合、小川原湖 ・南部小学校： 如来堂川 												
事業費	32千円												
成果	水に関わる活動により、身近な自然環境に興味を持つ児童が増え、環境保全に対する意識の向上が図られた。												
評価と方向性	児童は体験授業を通じて積極的に取り組んでおり、学習意欲も高い。 今後も地域のフィールドにあった内容を取り入れ、事業を充実させていく。												

事業毎個別評価表

《 社会教育指導の方針と重点 》 社会教育課関係 (B&G) No.3

B&G会長杯 三戸郡下中学校バレーボール大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	D
概要	春季青森県大会の予選会を兼ねて三戸郡内の中学校を対象として、三戸郡中学校体育連盟と共催として実施。		
実績	対象者	三戸郡内中学校バレーボール部	
	開催日	4/26～4/27	
	開催場所	南部町立名川中学校 体育館	
	参加チーム	男子2チーム (五戸中学校、田子中学校) 女子5チーム (五戸中学校、田子中学校、階上中学校、川内中学校、名川中学校)	
	事業費	54千円	
成果	バレーボール競技を通じた選手同士の技術向上のみならず、審判員や大会運営を担う参加中学校バレーボール部監督・コーチ及び町バレーボール協会会員相互の交流及び資質向上にもつながっている。		
評価と方向性	各チームが出場権を獲得するため日々練習に励み、競技を通じて技術を磨くとともに、選手同士の交流を深める場にもなっている。 なお、来年度より本大会運営事務局を三戸郡中学校体育連盟で実施することとなり、当事業も終了となる。		

B&G全国ジュニア水泳競技大会出場推進事業		事業の評価	◎	
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B	
概要	全国の B&G 海洋センターにて日頃から水泳を練習している青少年を対象に、競技力の向上と参加者相互の連携と親睦を図ることを目的に開催される大会。 青森県予選大会にてB&G財団が定める標準記録を突破した、当町代表選手を参加させた。			
実績	当町代表選手5名は、青森県連絡協議会チームとして参加。 参加者数			
	学校名	学年	性別	参加人数
	福地中学校	3	男	1名
		1	女	1名
	名久井小学校	4	男	1名
名川中学校	1	女	1名	
南部中学校	1	男	1名	
合計			5名	
	○ 開催日 公式練習：8/1 大会：8/2 ○ 開催場所 東京辰巳国際水泳場 ○ 事業費 45千円			
成果	全国の選手と競技・交流し、水泳競技の楽しさを再確認するとともに、競技力向上に対する意欲の向上がみられた。			
評価と方向性	「スイマーの聖地」といわれる東京辰巳国際水泳場で、全国の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させていく。			

B&Gスポーツ大会青森県大会推進事業		事業の評価	◎																												
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B																												
概要	B&G財団地域海洋センター青森県連絡協議会が主催する水泳、カヌー・OPヨットの大会に、水泳の部選手 8 名を参加させた。当町海洋センター職員 3 名が選手を引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事。																														
実績	参加者数																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福地小学校</td> <td>5</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">杉沢小学校</td> <td rowspan="2">6</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">名久井小学校</td> <td>4</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>女</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校</td> <td>6</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>8名</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	学年	性別	参加人数	福地小学校	5	男	1名	杉沢小学校	6	男	1名	女	1名	名久井小学校	4	男	1名	5	女	3名	剣吉小学校	6	男	1名	合 計		
学校名	学年	性別	参加人数																												
福地小学校	5	男	1名																												
杉沢小学校	6	男	1名																												
		女	1名																												
名久井小学校	4	男	1名																												
	5	女	3名																												
剣吉小学校	6	男	1名																												
合 計			8名																												
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 開催日 前泊：7/28 大会：7/29 ○ 開催場所 弘前市岩木B&G海洋センタープール ○ 事業費 84千円 																														
成果	他市町村の選手と競技・交流し、水泳競技の楽しさを再確認することができた。																														
評価と方向性	他市町村の選手と競技・交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加する。																														

がんばろう東北！B&G海洋体験交流大会参加事業		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B
概要	B&G財団地域海洋センター東北ブロック連絡協議会が主催する海洋体験交流会（カヌー・バナナボート・ライフセービング等）に、当町から小学生を参加させた。		
実績	町内小学生 4 年生～6 年生を対象に募集し、25 名が参加した。当町海洋センター職員 3 名が引率するとともに、大会当日はスタッフとして従事した。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 参 加 岩手県 3 市町 青森県 4 市町 児童、生徒 116 名 スタッフ 41 名 ○ 南部町参加者数 25 名 (福田小 15 名、福地小 3 名、剣吉小 3 名、名久井小 2 名、向小 2 名) ○ 開催日 7/5 ○ 開催場所 岩手県洋野町種市B&G海洋センター ○ 事業費 一 円 		
成果	海洋性レクリエーションを通じて他市町村と交流し、仲間と共に水辺の活動の楽しさを再確認することができた。		
評価と方向性	他市町村と交流する貴重な機会であるため、今後も継続して選手を参加させる。		

B&Gクリーンフェスティバルなんぶ		事業の評価	◎			
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	B			
概要	<p>水辺での活動の楽しさと水辺の環境保全の意識高揚のため、カヌー体験教室や水辺の安全教室を実施するとともに、クリーン作戦による環境保全活動を行う。 社会教育課が主催する「ふるさと楽習キャンプ」のプログラムの一つとして開催。</p>					
実績	対象者	町内小学校4年生～6年生				
	参加者数	・16名の参加	学校名	学年	性別	参加人数
			福地小学校	4	女	3名
			福田小学校	4	男	2名
					女	1名
			剣吉小学校	5	女	1名
				5	男	1名
			名久井小学校	5	男	1名
					女	1名
			名川南小学校	4	男	1名
5				1名		
6	1名					
向小学校	4	男	1名			
		女	1名			
	6	女	1名			
合計		16名				
事業内容	カヌー体験、ライフジャケット浮遊体験、B&G海洋センター周辺の清掃活動					
開催日	8/7					
開催場所	名川B&G海洋センタープール 他					
事業費	— 円					
成果	<p>水辺での活動の楽しさを学ぶと同時に、ライフジャケット浮遊で、自分の命を自分で守るという自助意識を高める機会を提供することができた。また、清掃活動を行うことで、水辺の環境保全に対する意識づけが図られた。</p>					
評価と方向性	<p>海洋性レクリエーションと清掃活動を併せて行うことで、水辺での自助意識の大切さを認識するとともに、環境保全の意識づけも期待できることから、今後も継続して青少年の健全育成に寄与していく。</p>					

初心者水泳教室		事業の評価	◎																																															
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																															
概要	町内小学校低学年（初心者）の児童を対象に水泳教室を実施することで、水の怖さを克服し、水に親しみ、水泳に対する興味を持ってもらうために開催。																																																	
実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象者 町内小学校1年生～3年生 ○ 参加者 19名（延べ73名） ○ 開催日 8/4～8/7 ○ 開催場所 名川B&G海洋センタープール ○ 事業費 ー 円 																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>学年</th> <th>性別</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">名久井小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td>男</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">剣吉小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">南部小学校</td> <td rowspan="2">1</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>向小学校</td> <td>2</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>福地小学校</td> <td>1</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">杉沢小学校</td> <td>1</td> <td>男</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>女</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合 計</td> <td>19名</td> </tr> </tbody> </table>			学校名	学年	性別	参加人数	名久井小学校	1	男	3名	女	4名	2	女	1名	剣吉小学校	1	男	1名	女	2名	南部小学校	1	男	1名	女	2名	2	女	1名	向小学校	2	男	1名	福地小学校	1	男	1名	杉沢小学校	1	男	1名	2	女	1名	合 計			19名
	学校名	学年	性別	参加人数																																														
	名久井小学校	1	男	3名																																														
			女	4名																																														
		2	女	1名																																														
	剣吉小学校	1	男	1名																																														
			女	2名																																														
	南部小学校	1	男	1名																																														
			女	2名																																														
2		女	1名																																															
向小学校	2	男	1名																																															
福地小学校	1	男	1名																																															
杉沢小学校	1	男	1名																																															
	2	女	1名																																															
合 計			19名																																															
成果	参加者に、水にふれる楽しさや親しみ、泳げる喜びを感じてもらうことができた。																																																	
評価と方向性	水泳初心者のため、まず水慣れから始めて水に触れる楽しさを知ってもらい、徐々に水泳の基本動作などレベルに合わせた指導を心掛けた。学校と共同で行っている水泳教室にもつながる事業であるため、今後も継続していく。																																																	

小学校水泳教室		事業の評価	◎																							
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																							
概要	水や水泳をよく理解し、水泳に対する興味を持ってもらうとともに、泳力の向上を図るために、町内小学校から授業での水泳指導依頼があった場合に、B&G海洋センター職員が指導・助言など協力。																									
実績	<table border="1"> <tbody> <tr> <td rowspan="3">対象者</td> <td>名川南小学校：5・6年生</td> <td>7名</td> </tr> <tr> <td>名久井小学校：全校生徒</td> <td>168名</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校：3～6年生</td> <td>95名</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">開催回数</td> <td>名川南小学校 全</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>名久井小学校 全</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>剣吉小学校 全</td> <td>3回</td> </tr> <tr> <td>開催期間</td> <td colspan="2">6月～8月</td> </tr> <tr> <td>開催場所</td> <td colspan="2">名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td colspan="2">一 円</td> </tr> </tbody> </table>			対象者	名川南小学校：5・6年生	7名	名久井小学校：全校生徒	168名	剣吉小学校：3～6年生	95名	開催回数	名川南小学校 全	7回	名久井小学校 全	16回	剣吉小学校 全	3回	開催期間	6月～8月		開催場所	名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール		事業費	一 円	
対象者	名川南小学校：5・6年生	7名																								
	名久井小学校：全校生徒	168名																								
	剣吉小学校：3～6年生	95名																								
開催回数	名川南小学校 全	7回																								
	名久井小学校 全	16回																								
	剣吉小学校 全	3回																								
開催期間	6月～8月																									
開催場所	名川B&G海洋センタープール 名川南小学校プール																									
事業費	一 円																									
成果	各小学校の教諭と連携して水泳指導を行ったことにより、泳力の向上と児童への安全性が確保され、手厚い指導ができた。																									
評価と方向性	参加者のレベルに合わせ、泳げる喜びを体感できるような指導を行うことで、参加者自身が成長を感じながら水泳の技術を向上させることができた。 今後も、受講者が楽しみながら学べるよう、より良い水泳指導方法を模索し、当事業を継続する。																									

第1回南部町駅伝競走大会		事業の評価	◎
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A
概要	昨年度までの現行コースは交通事故の危険性があり、陸上競技協会関係者等とのコース変更等の検討会を経て、今年度新たなコースで「南部町駅伝大会」として実施した。		
実績	事故等のトラブルもなく全チームが完走した。		
	参加チーム	○ 町内小学校 15チーム (向小3、名久井小2、南部小、福田小2、剣吉小2、福地小2 名川南小、山田町2) ○ 三戸郡中学校 12チーム (名川中3、福地中、三戸中、五戸中3、南部中3、杉沢中) ○ 町内クラブ・地区対抗 3チーム 三戸郡一般 3チーム 合計 32チーム	
	開催日	11/2	
	開催場所	南部町内 (コース) ○ スタート・フィニッシュ：すば一くながわ (剣吉公民館を中継地点とする周回コースに変更)	
	事業費	382千円 ※参加料1チーム1,000円、計32,000円	
成果	陸上競技の普及と児童・生徒等の競技力向上が図れるとともに、団体競技の一体感を経験することにより、仲間意識の高揚がはかられた。		
評価と方向性	1本のたすきを繋ぐことにより仲間との絆を深め、また、選手と応援する人の一体感、元気、感動を生み出し、地域の活性化を図ることができた。また、陸上競技の普及と駅伝競技の基礎を学ぶことができた。		

第22回青森県民駅伝競走大会実行委員会補助金事業		事業の評価	◎																																																																																
(4) 多様な生涯スポーツの振興		総合評価	A																																																																																
概要	青森県民駅伝競走大会南部町実行委員会に対して補助金を交付し、町内中学生以上の候補選手を選考し、強化練習や試走等を実施した。																																																																																		
実績	<p>平成26年4月22日に南部町実行委員会を組織してから大会まで、約40回の練習会と4回の試走会、2回のスタッフ会議を実施し、大会当日は、実行委員等計27名が選手をサポートした。 結果は、総合第3位、町の部第2位の成績を収めた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>所 属</th> <th>男 (名)</th> <th>女 (名)</th> <th>合計 (名)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>福地中学校</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>杉沢中学校</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>名川中学校</td><td>5</td><td>2</td><td>7</td></tr> <tr><td>南部中学校</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr> <tr><td>千葉学園高校</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>青森山田高校</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td></tr> <tr><td>八戸工業高校</td><td>4</td><td>0</td><td>4</td></tr> <tr><td>岩手県福岡高校</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>八戸東高校</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>名久井農業高校</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>日本体育女子大学</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>国士舘大学</td><td>2</td><td>0</td><td>2</td></tr> <tr><td>山梨学院大学</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>日本体育大学</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>亜細亜大学</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>武蔵野学院大学</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>はらだクリニック</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>陸上競技協会</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>合 計</td><td>30</td><td>10</td><td>40</td></tr> </tbody> </table> <p>○ 参加チーム数 40市町村</p> <p>○ 登録選手 15名 (男11名・女 4名)</p> <p>○ 候補選手 40名 (男30名・女10名)</p> <p>○ 開催日 9/7</p> <p>○ 開催場所 青森市内</p> <p>○ 事業費 実行委員会への町の補助金 1,160千円 (県から実行委員会へ：60千円)</p>			所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)	福地中学校	3	1	4	杉沢中学校	1	1	2	名川中学校	5	2	7	南部中学校	2	1	3	千葉学園高校	0	1	1	青森山田高校	4	2	6	八戸工業高校	4	0	4	岩手県福岡高校	2	0	2	八戸東高校	1	0	1	名久井農業高校	1	0	1	日本体育女子大学	0	1	1	国士舘大学	2	0	2	山梨学院大学	1	0	1	日本体育大学	1	0	1	亜細亜大学	1	0	1	武蔵野学院大学	1	0	1	はらだクリニック	0	1	1	陸上競技協会	1	0	1	合 計	30	10	40
所 属	男 (名)	女 (名)	合計 (名)																																																																																
福地中学校	3	1	4																																																																																
杉沢中学校	1	1	2																																																																																
名川中学校	5	2	7																																																																																
南部中学校	2	1	3																																																																																
千葉学園高校	0	1	1																																																																																
青森山田高校	4	2	6																																																																																
八戸工業高校	4	0	4																																																																																
岩手県福岡高校	2	0	2																																																																																
八戸東高校	1	0	1																																																																																
名久井農業高校	1	0	1																																																																																
日本体育女子大学	0	1	1																																																																																
国士舘大学	2	0	2																																																																																
山梨学院大学	1	0	1																																																																																
日本体育大学	1	0	1																																																																																
亜細亜大学	1	0	1																																																																																
武蔵野学院大学	1	0	1																																																																																
はらだクリニック	0	1	1																																																																																
陸上競技協会	1	0	1																																																																																
合 計	30	10	40																																																																																
成果	陸上競技の普及と選手のレベルアップのほか、町民の一体感を盛り上げ、町勢の発展とスポーツの振興が図られた。※成績：総合3位 町の部2位																																																																																		
評価と方向性	中学生から一般までを対象にした大会であるため、陸上競技の普及・振興につながっている。また、青森県全市町村参加のため、県民並びに町民の関心が高く、今後も大会が続く限り事業を継続する。																																																																																		

より安全、安心のおいしい給食を目指します。		事業の評価 ◎
		総合評価 B
概要	安全・安心な給食供給するため、特に作業動線図を用いた調理方法を徹底させた。	
実績	調理作業の内容について朝と昼の2回の打合せを行い、作業動線図による作業の確認を行い、それにそった調理を行うことにより安全な給食を供給することができた。 月に1回、南部町産の野菜の放射性物質測定検査を行い、地元産の安全な食材を使用した給食を供給することができた。	
成果	放射性物質測定により安全な食材を使用し、その食材の流れを交差することなく一方通行させることにより、異物混入の防止と衛生的で安全で安心な給食の供給ができた。	
評価と方向性	学校給食衛生管理基準及び大量調理衛生管理マニュアル等の中から必要不可欠な法規を遵守し「安全・安心な給食」の供給に努める。	

栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかります。		事業の評価 ◎										
		総合評価 B										
概要	栄養士が、バイキング式給食時の給食指導と各施設へ出向いての食育授業を行っている。											
実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>給食センター見学への対応</td> <td>町内小学校：2回</td> </tr> <tr> <td>食育授業による栄養指導</td> <td>町内小学校4校：8回</td> </tr> <tr> <td>健康面談</td> <td>町内中学校2校：3回</td> </tr> <tr> <td>就学时児童への給食説明会及び試食会</td> <td>町内幼稚園・保育園 3施設：3回</td> </tr> <tr> <td>バイキング式給食</td> <td>町内小中学校11校・幼稚園1園：15回</td> </tr> </table>		給食センター見学への対応	町内小学校：2回	食育授業による栄養指導	町内小学校4校：8回	健康面談	町内中学校2校：3回	就学时児童への給食説明会及び試食会	町内幼稚園・保育園 3施設：3回	バイキング式給食	町内小中学校11校・幼稚園1園：15回
給食センター見学への対応	町内小学校：2回											
食育授業による栄養指導	町内小学校4校：8回											
健康面談	町内中学校2校：3回											
就学时児童への給食説明会及び試食会	町内幼稚園・保育園 3施設：3回											
バイキング式給食	町内小中学校11校・幼稚園1園：15回											
成果	何気なく食している食材一つ一つが、健全な身体を支えるためにどのような役割を果たしているかを指導できた。											
評価と方向性	給食をとおした食育により、からだのしくみ、食べものはたらき、栄養の知識を得ることで偏食をなくしバランスのとれた食事をとることの大切さの指導の継続に努める。											

手作りの給食を心がけます。		事業の評価 ◎
		総合評価 A
概要	食材の切り方や盛り付け後の配色に工夫を凝らし可能な限り手作り感のある給食にしている。	
実績	<p>食欲が増すような彩りや、素材そのものの味を引き出せるような調理の工夫に努めた。</p> <p>今年度、設置した「微酸性電解水生成装置」により、きゅうり、レタス、ミニトマトなどを生野菜の状態でも供給が可能となり野菜本来の食感のある給食の供給を行った。</p> <p>苦手な野菜も摂取するように、「夏野菜カレー」、豆類を使用した「カラフルコールスロー」などの調理の工夫に努めた。</p>	
成果	加熱せずに生野菜を使用することにより加熱による食感の悪さを軽減し、食べ物本来の色や味を重視した調理をおこない、手作り感のある給食を供給できた。	
評価と方向性	暖めるだけで食べられる出来合いの食品が大量に販売されている現代において、一手間加えた手作り感のある給食を供給することにより、食への感謝の心を育てられるよう努める。	

伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にします。		事業の評価 ◎				
		総合評価 A				
概要	旬の食材を取り入れ、季節感をもたせた給食を供給している。					
実績	<p>食育月間（6月・11月）には、特に季節にあわせた郷土食をとり入れた給食の供給に努めた。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">伝統食</td> <td>せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・馬肉汁（鍋）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">郷土食</td> <td>みそ大根・なんばんみそ・美味^{うま}のほね・さくらんぼ・りんご</td> </tr> </table> <p>※南部地方で食べられてきた料理のなかで、センターにて調理して供給したものを伝統食とし、給食用に加工され仕入れた食材や南部町の特産品を郷土食としている。</p>		伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・馬肉汁（鍋）	郷土食	みそ大根・なんばんみそ・美味 ^{うま} のほね・さくらんぼ・りんご
伝統食	せんべい汁・ひつつみ・菊のり味噌汁・馬肉汁（鍋）					
郷土食	みそ大根・なんばんみそ・美味 ^{うま} のほね・さくらんぼ・りんご					
成果	旬の食材を取り入れることにより、食を通し季節を感じさせる給食を供給し、食文化の奥深さを体験させることができた。					
評価と方向性	児童生徒が南部町や青森県の食文化に興味を持つように、季節感と風土を重視した献立の給食供給に努める工夫する。					

地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にします。		事業の評価	◎
		総合評価	A
概要	地元の産物を活用した給食を供給することにより、地域の理解を深める。		
実績	<p>給食時間の放送用原稿を作成して、給食に使用している地元産の食材への理解につながるよう指導した。</p> <p>また、個々に配布している「給食だより」を利用し、児童・生徒へ地元産の食材の活用を周知させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米穀は南部町（福地）産「つがるロマン」100%使用 ・南部町産の食材の使用率 20.9% ・青森県産の食材の使用率 51.1% 		
成果	給食時間の放送用原稿や「給食だより」を活用し、地域への理解や感謝の心を育てるとともに、地元産の米穀・野菜・果物の消費が図られた。		
評価と方向性	<p>食材、特に野菜の値が高騰してきている。町内にある産直会の方々の協力により南部町産の食材を比較的安価に仕入れることができるが、季節により仕入れが左右される。町内農家の方々からできるだけ多くの協力が得られるようにする。</p>		

教育委員会活動の状況

1 教育委員会委員構成

職名	氏名	任期期間
教育委員長	境久孝	H22.4.5 ~ H30.4.4 (H26.4.5 ~ H27.4.4)
教育委員長職務代行者	佐藤俊男	H22.4.5 ~ H30.4.4 (H26.4.5 ~ H27.4.4)
委員	宮本佳悦	H18.3.16 ~ H29.3.15
委員	中村祐子	H18.3.16 ~ H27.3.15 (H25.4.5 ~ H26.4.4)
委員	西舘たか	H27.3.16 ~ H31.3.15
教育長	山田義雄	H24.4.1 ~ H28.3.31

* 括弧は、委員長・職務代行者任期

2 教育委員会の活動概要

(1) 学校訪問

学校等の教育関連施設を訪問して教育現場の状況を把握する

幼稚園 1園、小学校 4校、中学校 2校の学校訪問を実施

訪問月日	訪問校
H26年9月17日	杉沢小学校、杉沢中学校
H26年10月15日	南部小学校、南部中学校
H26年11月20日	名川幼稚園、名久井小学校、福地小学校

(2) 会議・研修会

* 研修会等に参加し、委員としての幅広い見識(識見)を養う

開催月日	会議・研修会名	出張先	出席者数
5月23日	県市町村教育委員会委員定期総会・研修会	青森市	2人
7月10日	三戸郡教育振興会町村教育委員研修	秋田県東成瀬村	5人
10月9日	郡教育委員秋季研修会	五戸町	5人
11月12日	市町村教育委員会委員長・教育長合同研修会	青森市	2人

(3)各種行事・大会等

* その他、下記の各種行事・大会に参加

開催月日	行事・大会名	開催月日	行事・大会名
4月7日	杉沢小学校入学式	10月5日	名川幼稚園運動会
4月7日	向小学校入学式	10月11日	名久井小学校学芸発表会
4月7日	南部小学校入学式	10月11日	杉沢小学校学芸発表会
4月7日	杉沢中学校入学式	10月18日	名川中学校文化祭
4月7日	南部中学校入学式	10月18日	福地小学校学芸発表会
4月7日	福地小学校入学式	10月18日	向小学校学芸発表会
4月7日	福田小学校入学式	10月19日	南部中学校文化祭
4月7日	剣吉小学校入学式	10月19日	杉沢中学校文化祭
4月7日	名久井小学校入学式	10月19日	福地中学校文化祭
4月7日	名川南小学校入学式	10月25日	福田小学校学芸発表会
4月7日	福地中学校入学式	10月25日	南部小学校学芸発表会
4月7日	名川中学校入学式	10月26日	剣吉小学校学芸発表会
4月8日	南部幼稚園入園式	10月26日	名川南小学校学芸発表会
4月20日	うぐいすマラソン大会	12月5日	南部町中学生海外派遣事業報告会
4月24日	南部町教育大会	1月11日	南部町成人式
5月17日	杉沢小・中学区合同運動会	1月25日	名川幼稚園おゆうぎ会
5月18日	名川中学校体育祭	2月14日	町文化賞・スポーツ賞授与式
5月18日	南部中学校体育祭	2月25日	郡教育振興会定期総会
5月24日	福地小学校運動会	3月13日	名川中学校卒業式
5月24日	剣吉小学校運動会	3月14日	福地中学校卒業式
5月24日	南部小学校運動会	3月14日	南部中学校卒業式
5月25日	福田小学校運動会	3月14日	杉沢中学校卒業式
5月25日	名久井小学校運動会	3月17日	名川幼稚園卒園式
5月25日	名川南小学校運動会	3月20日	名久井小学校卒業式
5月25日	向小学校運動会	3月20日	福地小学校卒業式
6月20日	町小学校陸上競技記録会	3月20日	福田小学校卒業式
6月21日	三戸郡中学校体育大会開会式	3月20日	杉沢小学校卒業式
8月31日	福地中学校体育祭	3月20日	剣吉小学校卒業式
9月28日	南部七唄・七踊り全国大会	3月20日	向小学校卒業式
		3月20日	南部小学校卒業式
		3月21日	名川南小学校卒業式

3 教育委員会会議

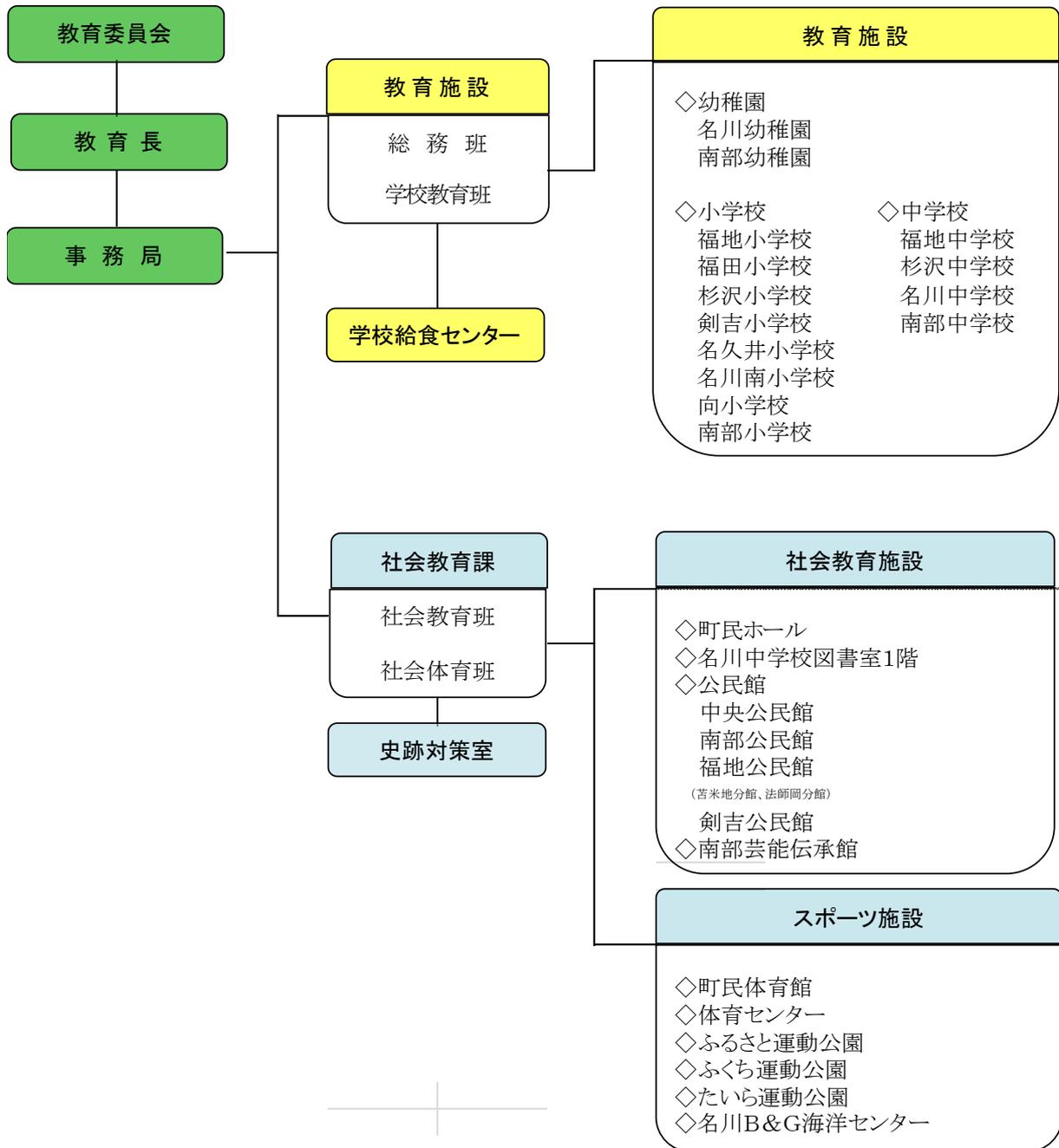
月1回の定例会

開催日	会議	議案番号等	案 件
H26年4月4日	第106回	報告第1号 報告第2号 報告第3号	南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 南部町立名川幼稚園園長の発令について 平成26年度スクールサポーターの委嘱について 南部町教育委員会委員長の選挙について 南部町教育委員会委員長職務代行者の指定について 南部町教育委員会委員の席次の決定について
H26年4月18日	第107回	報告第4号 報告第5号 報告第6号 報告第7号 報告第8号 議案第1号 議案第2号 議案第3号 議案第4号 議案第5号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について 平成26年度通学区域外就学の承認について 平成26年度区域外就学の承認について 南部町運動公園条例施行規則の制定について 南部町運動公園条例施行規則に規定する別に定める様式を定める要綱の制定について 南部町就学指導委員会委員の委嘱について 南部町社会教育委員の委嘱について 南部町文化財審議委員の委嘱について 南部町公民館運営審議会委員の委嘱について 南部町スポーツ推進委員の委嘱について
H26年5月27日	第108回	報告第9号 報告第10号 報告第11号 議案第6号 議案第7号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について 平成26年度区域外就学の承認について 南部町社会教育委員の委嘱について 学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 町立幼稚園民営化ガイドライン及び民営化計画について
H26年6月25日	第109回	報告第12号 報告第13号 報告第14号 報告第15号 報告第16号 報告第17号 報告第18号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)及び解除について 平成25年度南部町教育関係補正予算(第8号)及び平成26年度南部町教育関係補正予算(第1号)について 南部町教育委員会の事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則について 南部町教育委員会教育長事務委任規則の一部を改正する規則について 南部町教育委員会事務専決代決規程の一部を改正する訓令について 平成26年度区域外就学の承認について 南部町公民館運営審議会委員の委嘱について 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則について 南部町私立幼稚園就園奨励費交付規程を廃止する訓令の制定について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の制定について 南部町奨学金の貸付けについて
H26年7月28日	第110回	報告第19号 報告第20号 報告第21号 報告第22号 報告第23号 報告第24号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について 特別支援教育就学奨励費支弁区分の認定について 準要保護児童生徒の学用品費等支給に係る事務処理要領の変更について 平成26年度区域外就学の承認について 福田小学校「学校評議員」の委嘱について 南部町奨学金貸付申請の取り下げについて
H25年8月26日	第111回	報告第25号 報告第26号 報告第27号 報告第28号 報告第29号 議案第12号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)及び解除について 平成26年度区域外就学について 福地中学校「学校評議員」の委嘱について 南部町スポーツ指導員の委嘱について 外国語指導員の任用について 平成26年度南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書【H25年度実績】について
H26年9月17日	第112回	報告第30号 報告第31号 報告第32号 報告第33号 報告第34号	平成26年度南部町教育関係補正予算について 平成25年度南部町一般会計歳入歳出決算認定について 平成25年度南部町学校給食センター特別会計歳入歳出決算認定について 区域外就学の承認について 平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
H26年10月15日	第113回	報告第35号 議案第13号	平成26年度就学指導委員会の判定について 南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について

開催日 会議		議案番号等	案 件
H26年11月19日	第114回	報告第36号 報告第37号 報告第38号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の解除及び認定について 平成26年度区域外就学の承認について 県費負担教職員の内申について
H26年12月17日	第115回	報告第39号 報告第40号 報告第41号 報告第42号 議案第14号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 平成26年度区域外就学の承認について 平成26年度南部町教育委員会補正予算（第4号）について 平成26年度就学指導委員会の判定結果について 平成26年度南部町文化賞・南部町スポーツ賞被表彰者について
H27年1月21日	第116回	報告第43号 報告第44号 報告第45号	平成26年度要保護・準要保護児童生徒の認定（追加）について 平成26年度区域外就学の承認について 平成26年度通学区域外就学について
H27年2月17日	第117回	報告第46号 報告第47号 議案第15号 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号	平成26年度区域外就学の承認について 平成26年度通学区域外就学について 南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の制定について 南部町立幼稚園保育料等徴収条例の廃止する条例の制定について 南部町立幼稚園の管理運営に関する規則の一部改正について 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の廃止する規則の制定について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について 南部町文化財の指定について 南部町立学校学校医、学校歯科医師及び学校薬剤師に関する規則の一部改正について
H27年3月18日	第118回	報告第48号 報告第49号 報告第50号 報告第51号 報告第52号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 議案第35号 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 議案第40号 議案第41号 議案第42号 議案第43号 議案第44号 議案第45号 議案第46号 議案第47号	平成26年度通学区域外就学の承諾について 平成26年度区域外就学の承諾について 平成26年度南部町教育関係補正予算（第5号）について 平成27年度南部町教育関係予算（当初）について 平成27年度南部町学校給食センター特別会計予算（当初）について 平成27年度 要保護・準要保護児童生徒の認定について 平成27年度通学区域外就学の承諾について 平成27年度区域外就学の承諾について 平成27年度南部町教育方針について 平成27年度南部町教育大会について 南部町教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会会議傍聴規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会の事務の委任等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会教育長事務委任規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会事務専決代決規程の一部を改正する規程の制定について 南部町教育委員会文書公印規程の一部を改正する規程の制定について 南部町教育委員会教育長の勤務時間等に関する規則を廃止する規則の制定について 南部町立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について 南部町立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 南部町就学指導委員会規程の一部を改正する規程の制定について 南部町立学校給食センター設置条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 南部町子育て支援学校給食費給付金交付要綱の制定について 南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例施行規則の制定について 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について 県費負担教職員の異動の内申について 南部町教育委員会事務局職員の人事異動について 南部町立名川幼稚園園長の発令について 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について 南部町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について 南部町教育委員会公告式規則の一部を改正する規則の制定について 南部町教育委員会事務局職員の営利企業等の従事制限規則の一部を改正する規則の制定について

教育委員会事務局の組織の状況

1 教育委員会機構図



2 教育委員会事務分掌

● 学務課

【総務班】

教育委員会の会議に関すること。
教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免その他人事に関すること。
公印の保管に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
教育予算の編成及び執行に関すること。
県費負担職員の任免その他人事に関すること。
学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
教育財産の管理に関すること。
教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。
基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。
県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。
他の班の所掌に属しない事務に関すること。

【学校教育班】

校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に関すること。
学校施設台帳の整備保管に関すること。
教育内容及びその取扱いに関すること。
教科用図書の採択並びに給与に関すること。
学習効果の評価に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。
校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。
学校給食に関すること。
児童及び生徒の就学に関すること。
学校保健に関すること。
学校図書館に関すること。
義務教育費国庫負担事務に関すること。
学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。
幼稚園に関すること。
児童及び生徒の交流に関すること。
奨学金に関すること。
その他学校教育に関すること。

● 社会教育課

【社会教育班】

公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。
社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。
各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。

社会教育関係団体の指導育成に関すること。
社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。
文化財の保護に関すること。
郷土芸能の伝承に関すること。
社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。
ユネスコ活動に関すること。
コミュニティーに関すること。
ボランティアに関すること。
青少年教育に関すること。
青少年健全育成に関すること。
家庭教育に関すること。
婦人教育に関すること。
男女共同参画事業に関すること。
生涯学習推進事業に関すること。
文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。
その他社会教育に関すること。

【社会体育班】

体育・スポーツの振興に関すること。
スポーツ推進委員に関すること。
体育関係団体の指導育成に関すること。
体育施設の管理運営及び整備に関すること。
運動公園の管理運営及び整備に関すること。
町民運動会に関すること。
スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。
その他社会体育に関すること。

【史跡対策室】

南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。
南部氏史跡整備検討委員会に関すること。
国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。
南部氏史跡の公有化に関すること。
南部氏史跡発掘調査に関すること。
南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。
南部氏史跡整備及び活用に関すること。
南部氏史跡の周知に関すること。
南部氏の文献調査及び研究に関すること。
南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

3 教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
教育費	教育総務費	教育委員会費	971	758	949	862	1,049
		事務局費	501,179	157,796	193,774	151,533	160,065
		小計	502,150	158,554	194,723	152,395	161,114
	小学校費	学校管理費	77,628	85,901	79,726	97,366	82,497
		教育振興費	22,653	30,977	20,018	19,864	19,534
		小計	100,281	116,878	99,744	117,230	102,031
	中学校費	学校管理費	47,407	46,349	56,201	70,772	54,654
		教育振興費	17,921	17,671	18,851	17,710	18,496
		小計	65,328	64,020	75,052	88,482	73,150
	幼稚園費	幼稚園管理費	45,589	45,285	32,767	32,516	17,860
		教育振興費	5,900	5,026	5,051	5,647	6,515
		小計	51,489	50,311	37,818	38,163	24,375
	社会教育費	社会教育総務費	81,838	70,400	69,386	67,398	67,981
		公民館費	29,325	22,656	31,735	43,285	42,810
		社会教育施設費	11,921	10,765	11,758	12,601	12,481
		文化財保護費	77,393	28,839	16,990	32,660	47,933
		小計	200,477	132,660	129,869	155,944	171,205
	保健体育費	保健体育総務費	65,635	56,734	56,849	49,287	53,636
		保健体育施設費	41,314	72,181	76,631	51,925	39,842
		保健体育施設整備費	26,154	—	—	—	—
		小計	133,103	128,915	133,480	101,212	93,478
	給食センター費	給食センター費	102,442	103,825	104,574	94,609	141,737
		小計	102,442	103,825	104,574	94,609	141,737
	計	1,155,270	755,163	775,260	748,035	767,090	
	対前年比	0.62	0.61	1.02	0.93	1.03	

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立福地小学校

校長 蔦 林 洋 司

活動名称 (テーマ)	共に学び、かかわり合いながら、豊かな心と夢をはぐくむ福地っ子プラン
事業の効果	<p>1. 地域とのかかわりをよりどころとした体験的・協力的・参加的な学習を通して、特色ある教育活動（10周年記念事業・人権教育の推進）の充実を図り、豊かな心や夢をはぐくむことができた。</p> <p>2. 米作り体験、野菜作り体験、昔の遊び体験、茶道体験などの様々な体験を通して、総合的な学習の時間（わくわくタイム）の充実を図り、地域に進んで関わろうとする気持ちが育った。</p>
実施月日	実 施 内 容
<p>9月25日</p> <p>11月1日</p> <p>12月</p> <p>2月5日</p>	<p>1. 特色ある教育活動</p> <p>(1) 福地小創立10周年記念に関する学習会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドキュメンタリー映画「夢は牛のお医者さん」鑑賞会（全校） ・創立10年の歩みを振り返るスライド作り（全校） ・10年後の福地小に向けてビデオレター作り（6年） <p>(2) 人権教育の推進（ふるさとを考える体験活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・えんぶり学習会（5年）
<p>4月22日</p> <p>6月6日</p> <p>10月6日</p> <p>11月15日</p> <p>12月13日</p> <p>5月30日</p> <p>12月4日</p> <p>9月1日 ～2月9日</p>	<p>2. 総合的な学習の時間「わくわくタイム」における体験活動の充実</p> <p>(1) 米作り体験「福地のお米を自慢しよう」（5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏堀さんの作業小屋で育苗体験 ・夏堀さんを招いて田植え体験 ・稲刈り・脱穀・精米体験 ・福地特産品祭りにて販売体験 ・収穫祭としてもちつき体験 <p>(2) 野菜作り体験「野菜作り名人になろう」（1年・2年・3年・4年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の野菜作り名人を招いて、夏野菜（とうもろこし・ピーマン・なす・サツマイモ・ミニトマト・オクラ・セロリ・大豆・ゴーヤ）植え体験 <p>(3) 伝統遊びの会「おとしよりとあそぼう」（1年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブの人を招いて、伝統遊びの会（わらない・竹馬・一輪車） 子どもの頃のお話会 <p>(4) 日本文化体験「茶道に親しもう」6回（全学年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松尾宗論さんを招いて、茶道体験教室

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立福田小学校
校長 三浦 勉

活動名称 (テーマ)	福田小学校「特色ある学校経営事業」
事業の効果	確かな学力の定着と、心身ともに健康な体づくりのために、「知・徳・体」の3つの観点から課題を明らかにし、その解決に向けて組織的・計画的に実践に取り組むことによって、意欲的で自立した子どもの育成を図ることができた。
実施年月日	実施内容
9月～10月 2月 2月 6月～2月 6月～2月	<p>1. 学び方を身につけて進んで学習に取り組む子の育成</p> <p>(1) 木の実あなあけなんでもドリル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1・2年生活科において、木の実でおもちやを作る際に効率よく作業を進めることができた。 <p>(2) 八幡馬づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3学年総合的な学習の時間に八幡馬制作に取り組むことで、郷土の伝統工業を学ぶことができた。 <p>(3) えんぶり「えぼし」づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4学年総合的な学習の時間にえんぶりの「えぼし」制作に取り組むことで郷土の伝統工芸と伝統行事を学ぶことができた。 <p>(4) フロアスタンドスクリーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンソフトで作成した資料提示ができ相手に分かりやすく伝えることができた(すこやか集会などでの委員会発表、総合的な学習などで使用)。 <p>(5) 書画カメラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、資料集、辞書、地図帳などの印刷物や動植物などの現物をそのまま拡大表示して見せることができた。そのため分かりやすく説明をすることができ、学習理解が深まった。
6月～2月 8月～9月	<p>2. 心の豊かな子・やさしく思いやりのある子</p> <p>(1) 一人一鉢</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～6学年の児童一人一人が種から花を育て卒業式、入学式に向けて世話をすることによって、植物を大切にすることと感謝の心を育てることができた。 <p>(2) マスコット作戦用材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JRC活動の一環として、マスコット作戦(10/8)に向けてマスコットを作ってドライバーに配付することにより、奉仕の心を育てることができた。
6月～2月	<p>3. 自分のめあてに向かって進んで努力しようとする子の育成</p> <p>(1) スーパーラダー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育の体づくりの運動では、スーパーラダーを使用することによって多様な動きを身につけることができた。
1～2月	<p>4. (校舎内外の環境整備美化運動)</p> <p>(1) 花苗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内環境整備のため花苗を購入し、育てた。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢小学校
校長 横田 英穂

活 動 名 称 (テ ー マ)	特色ある学校経営事業
事 業 の 効 果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 朝読書、読み聞かせをとおして、心の糧が養われ、豊かな心を育むことができた。また、いろいろな本に出会い、本の楽しさを知ることができた。 2. 農作業、焼きいもなどの自然体験活動をとおして、縦割り班で協力して活動する力や自分なりに工夫して作業する力が育った。また、自然に対する興味や関心が高まり、自然や ふるさとを大切にする心も育っている。 3. マラソン週間を設定し、個人ごとの目標をもたせ、その成果を試すマラソン大会を行うことにより、ねばり強く継続的に取り組む心を育てることができた。 4. 保護者や地域の方々との交流をとおして、いろいろな方々の協力のおかげで学校生活が成り立っていることを知ることができ、感謝の気持ちを表すことができた。また、祖父母の方々に昔の遊びを教えていただき、一緒に遊ぶことができた。
実施年月日	実 施 内 容
4月15日～2月10日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 読書活動の推進（読み聞かせ） <ol style="list-style-type: none"> (1)朝8時～8時10分の時間帯で、読み聞かせボランティアの方々の朗読を学級ごとに聞く。(火曜日、月1～2回で12回) (2) 朝自習の時間を利用して読書を行う。 (月曜日と木曜日は児童のみ、金曜日は先生も一緒に行う。)
6月2日～11月29日	<ol style="list-style-type: none"> 2. 体験活動の推進 <ol style="list-style-type: none"> (1) 田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭という一連の活動を、保護者や地域の方々の協力のもとで行う。 (2)全校で焼きいも体験を行う。 (3)保護者や地域の方々をお招きして収穫祭を行う。 (これまでの農作業活動の発表、昔の遊び、餅つき、会食)

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立剣吉小学校
校長 中村 正

活動名称 (テーマ)	児童の感性・個性をみがき、伸ばし、自己実現を支援する活動の推進
事業の効果	<p>1. 授業の展開において実物投影機（ICT）を工夫して活用することにより、児童を授業に集中させたり、児童にノートを用いて自分の考えを発表させたりすることができた。その結果、児童一人一人が学習課題に対して深く考えたり、自分の発表する姿勢に積極性が見られるようになり、学習児童の学習意欲の高まりを感じることができた。今後も実物投影機を授業や教育活動で活用し、児童一人一人が分かる授業の展開と学習内容の定着に努めていきたい。</p> <p>2. 長坂下環境保全隊の方々や名久井農業高等学校の生徒の皆さんと、農業体験活動や環境美化運動を通じて交流したことにより、地域の人々とのふれあいやコミュニケーションを深めることができた。また、児童の自然への興味関心が高まり、豊かな心の育成へと発展していった。</p> <p>3. 相撲のまわし締めの手順について講師を招き、実際に学ぶことができ、保護者の協力のもと、相撲大会を円滑に運営することができた。</p>
実施年月日	実施内容
5月16日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験作業（受粉）
5月27日	5年生と長坂下環境保全隊の方々の農業体験学習（田植え）
6月10日	3年生と名久井農業高等学校生徒との花植え（地域花いっぱい運動）
7月18日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（摘果）
9月 2日	まわし締め講習会（講師：神代寿仁氏）添付資料②
9月 4日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（シール貼り）
9月24日	5年生と長坂下環境保全隊の方々の農業体験学習（稲刈り）
10月24日	4年生と名久井農業高等学校生徒とのりんご体験学習（収穫とまとめ） 添付資料③
12月16日	5年生と長坂下環境保全隊の方々の収穫感謝祭 添付資料④
年間	実物投影機の活用による授業改善と実践 添付資料①

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名久井小学校
校長 慶長 隆光

活 動 名 称 (テ ー マ)	平成26年度 名久井小学校 特色ある学校経営事業
事 業 の 効 果	<p>1. 教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進が図られた。</p> <p>(1) 生活科、理科、総合的な学習の時間による農園活動では、南部町の主力産業である農業について考えたり体験したりすることができた。</p> <p>(2) 地域の素材（施設・郷土料理）を生かして、見学や体験を通して、地域のよさを知り、ふるさとに対する愛着を増すことができた。</p> <p>(3) 相撲大会を通じて、伝統と礼儀を重んじ日本古来の武道にふれることができた。</p> <p>2. エネルギー環境教育を通して環境に対して意識を高揚させ、環境を保全しようとする気持ちを持たせることができた。</p> <p>3. 校内にサイエンスワークショップコーナーを設置し、日常的な科学体験活動を通して追求活動への意欲づけを図ることができた。</p>
実施年月日	実 施 内 容
5月～11月 (通年)	<p>1. ふるさと学習</p> <p>(1) 農園活動；野菜を育てよう<1～6年、あじさい学級> (ジャガイモ、さつまいも、ゴーヤ、ミニトマト、ヘチマ、大根、ねぎ等)</p> <p>(2) 郷土料理を作ろう<3年> (せんべい汁、キクの味噌汁)</p> <p>(3) 如来堂川のなぞを探る<4年> (源流さがし、水生生物の調査、鮭の採卵・人工授精・卵の飼育)</p> <p>(4) 相撲大会を成功させよう<全校> (まわしかけ講習会、学年別個人戦男子の部・女子の部)</p> <p>(5) 南部手踊りを発表しよう<手踊りクラブ> (学習発表会)</p> <p>(6) リンゴ栽培体験<5年> (受粉、摘果、収穫) ～名久井農業高校の協力得て</p> <p>(7) 聖寿寺館跡発掘体験、名久井岳登山<6年></p> <p>(8) 花を育てよう～チューリップ、ヒヤシンス、クロッカス</p>
7月～ 1月 (通年)	<p>2. エネルギー環境教育</p> <p>(1) 環境授業</p> <p>1年～地球にやさしいのは、どっち？</p> <p>3年～ゴミをへらす工夫</p> <p>4・5年～発電のしくみ</p> <p>6年～ウィンドファームの見学</p> <p>(2) ものづくり体験学習</p> <p>2年～「にじいろライトを作ろう」</p> <p>3年～「明かりがつくおもちゃ作り」</p> <p>4年～「スーパータワッチ君作り」</p> <p>5年～「ペルチェ素子」</p> <p>6年～「ゴム動力で飛ばそう」</p> <p>(3) 「ノー電気デー」12月10日実施 (1年・3年・4年～生活の中の電気、2年～廃油ろうそく作り、5・6年～手作りカイロの作製)</p> <p>(4) サイエンスワークショップコーナーの設置～科学体験活動</p>

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立名川南小学校

校長 中村大 安

活動名称 (テーマ)	地域の特性を生かした体験活動の推進
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の老人クラブの方々や保護者の方々から田植えや稲刈りの仕方を教えていただきながら米を育てる活動を通して、自分たちの住む地域との結びつきを感じることができ、自らが地域の一員であることを実感することができた。 2. 自分たちが育てた稲を定期的に観察する活動を通して、植物の生長に関心をもつ児童が増えた。 3. 「もちつき・そば打ち会」を行うことで、収穫できた喜びや自然に感謝する気持ちを養うことができた。
実施年月日	実施内容
<p>5月21日</p> <p>6月18日</p> <p>7月17日</p> <p>9月19日</p> <p>10月9日</p> <p>10月30日</p> <p>12月7日</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 田植え (1) 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々7名、及び保護者の方々10名に指導・支援していただきながら、全校児童がもち米の苗を植えた。 2 稲の観察 (1) 全校児童で、稲の成長を確認し、記録した。 3 稲刈り (1) 鳥谷、鳥舌内両老人クラブの方々8名、及び保護者の方々12名に指導・支援していただきながら、全校で収穫した。 4 脱穀 (1) 天日干した米を、児童が足踏み脱穀機などを使い、昔の道具の学習もしながら、脱穀作業を行った。 5 もちつき・そば打ち会 (1) 地域の方々、来賓の方々を招待し、収穫祭を行った。児童も合わせ100名以上の方々が集い、楽しく交流を行った。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立向小学校
校長 小笠原 賢治

活動名称 (テーマ)	一人一人の子どもを生かす学校づくり
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な学習活動において、自分の考えをもち、相手の考えと比べながら、わかりやすく伝えようとする意識が高まってきた。 2. 地域の指導者からナニヤドヤラを学ぶことによって、伝統文化を継承しようとする態度が育ってきた。 3. 農作業体験を通して、勤労の尊さを感じながら、自然を大切にしていこうとする態度が育ってきた。
実施年月日	実施内容
5月	わかば学級「野菜を育てよう」 環境整備委員会「ゼラニウムを植えよう」 2年生生活科「ミニトマト・サツマイモを植えよう」 3年生総合的な学習「ポップコーンを育てよう」 4年生理科「へちまを植えよう」 1年生生活科「朝顔を植えよう」(鉢用の土)
7月～11月	全学年体育「陸上運動」 業間運動「基礎体力作り」 (ソフトラダートレーニングロープ)
6月16日～ 7月1日	全学年「ナニヤドヤラ学習」 (指導者：中村サヨ氏、沖田勝裕氏、工藤裕章氏、工藤恵之助氏、留目健樹氏)
7月1日	全学年「ナニヤドヤラコンクール」 (優賞メダル、敢闘賞メダル)
7月～3月	1, 2年生生活科「生き物との触れ合い活動」(小動物サークル)
7月～3月	各教科、領域での発表学習、話し合い活動の活性化に活用 (デジタルカメラ・プロジェクター)
11月上旬	1年生生活科「チューリップの球根を植えよう」 環境委員会「花壇を整備しよう」(球根138個)

特色ある学校経営事業の概要及び効果

南部町立南部小学校

校長 田中 強

活動名称 (テーマ)	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくりの活動
事業の効果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多くの自然、地域、人と関わる多様な体験活動を行うことにより、地域のよさに気づき、ふるさとを大切にしようとする気持ちや受け継いでいこうとする意欲が高まり、豊かな心を育成に結びついた。 2. 一人一人が課題をもって取り組む学習や活動を設定したことで、学ぶ楽しさや喜びを味わい、主体的に行動する姿が多く見られた。 3. 図書室や校舎内外の環境整備が進み、学習環境の充実を図ることができた。
実施年月日	実施内容
<p>5月30日</p> <p>5月～11月</p> <p>11月19日</p> <p>5月～2月</p> <p>5月～10月</p> <p>5月～11月</p> <p>5月～9月</p> <p>11月7日</p> <p>4月18日～12月5日</p> <p>通年</p> <p>6月5日・9月12日</p> <p>11月21日</p> <p>5月24日・8月16日</p> <p>5月～11月</p> <p>通年</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然体験・福祉体験・勤労生産体験等を取り入れた活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り班による野外炊事 (2) 農業体験活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・教材園での栽培活動、専門家から学ぶ農業教室 ・食育学習 (3) 総合的な学習の時間の充実 <ol style="list-style-type: none"> 1・2年 昔の遊び体験 3年 りんご作り作業体験学習 4年 地域の川の調査学習 5年 米作り作業体験学習 6年 南部町の歴史と文化財調査 全学年 伝統芸能鑑賞会 (相内芸能保存会) 2. 豊かな心を育てるための活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 読み聞かせボランティアによる活動 (2) 読書活動の推進 (3) 異学年交流活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・クリーン作戦 ・縦割り班集会 (4) 南部小「よさこいソーラン」の伝承 <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や南部マァフェスティバルでの発表 3. 環境美化活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) 花いっぱい運動 (花壇整備) (2) 学習環境の充実

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立福地中学校
校長 米田 清治

活 動 名 称 (テ ー マ)	福地中学校特色ある学校経営事業
事 業 の 効 果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境に触れさせながら、教育目標である「自ら学び自ら育つ生徒」「規律正しく心豊かな生徒」の育成に努め、「学校行事」や「体験活動」の中で成果をあげた。 2. 体育祭や夏季・秋季中体連壮行式、また学年の行事では、応援委員会を中心として、応援する意識が定着した。行事での取組を通じて一人一人の意識の中に、福地中学校を各自が支えることと愛校心を育成することができた。 3. 生物育成体験の「小玉スイカづくり」「キュウリづくり」で「命の大切さ」「収穫の喜び」を体験させた。 4. 立志式を通じて、自分の人生を展望させ将来設計能力を育成した。
実施年月日	実 施 内 容
5月～3月	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「学校行事」「生徒会行事」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 中体連壮行式での応援活動 (2) 中体連県大会壮行式での応援活動 (3) 受検に向けての激励 (4) 立志式にむけての激励 (5) 3年生を送る会での応援活動
5月～9月	<ol style="list-style-type: none"> 2. 生物育成体験の「小玉スイカづくり」「キュウリづくり」 <ol style="list-style-type: none"> (1) 「各種野菜づくり」「大玉スイカづくり」
2月17日	<ol style="list-style-type: none"> 3. 「立志式」講師 原田 英也 氏 (医療法人 はらだクリニック理事長)

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立杉沢中学校
校長 田中 敬

活動名称 (テーマ)	杉中はぐくみプラン ～「彩新～奏～」個を認め合い、美しいハーモニーを奏しよう～
事業の効果	<p>1. 学校図書支援ボランティア活動の活性化を通して、生徒の積極的な図書室の活用が見られ、本校の教育目標「自ら考える生徒の」育成の一助となった。</p> <p>2. 日常的な音楽活動とともに、前校長野村律子による2回の全校合唱指導を実施し、本校の目指す学校像④「元気な挨拶と音楽の溢れる学校」の目標達成の一助となった。</p> <p style="padding-left: 2em;">音楽講師本澤広路氏との交流活動を通じて、生徒たちの好きな言葉をつなげて詩を作り、その詩に本澤氏が曲を付けて「桜シンフォニー」という曲を作っていただいた。卒業式に本澤氏のギター伴奏で歌う予定である。</p> <p>3. 全校でよさこいに取り組み、学校行事の他に地域の諸行事に参加して、郷土愛を育み、本校の目指す学校像(3)「地域から信頼される学校」の一助となった。</p>
実施年月日	実施内容
通年 7月11日 2月1日 7月14日、 3月3日 10月19日 12月19日、 2月1日	<p>1.学校図書支援ボランティアによる図書室環境整備 (1)ブックカバーの貼り付け作業や、バーコードによる書籍管理を行うことで、図書室利用者が増加した。(ブックカバー購入)</p> <p>2.音楽教育の充実 (1) 本澤博路氏による全校音楽ミニコンサートの実施(演奏者謝礼) (2) 毎朝夕、全校音楽を実施 (3) ハンドベル演奏を、プラスフェスタ、福地地区芸能祭等で演奏を披露 (4) 前校長 野村律子氏を講師に迎え、全校合唱を年2回実施(講師謝礼)</p> <p>3.全校生徒による「よさこい」演舞 (1) 杉中祭、長老園訪問、福地地区芸能祭で今回作成した「はっぴ」を着用して全校よさこいを披露した。(はっぴの布購入)</p>

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立名川中学校
校長 高橋 力也

活動名称 (テーマ)	特色ある学校経営事業
事業の効果	<p>事業を通して、生徒に「豊かな人間性や社会性」、「国際社会に生きる日本人としての自覚」を育成することができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 郷土に希望と誇りを持ち、地域の伝統を受け継ぎ、郷土を愛する心を育成することができた。 2. 地域の人々との触れ合いを通して、さまざまな「生き方」に共感し、自分の生き方を探らせることができた。 3. 教科センター方式を生かした主体的な学習活動を推進することができた。
実施月日	実 施 内 容
<p>名川秋まつり 9月8日、10日</p> <p>文化祭 10月19日</p> <p>南部地方えんぶり 2月7日</p> <p>えんぶり 通年</p> <p>いのちの大切さ講座 10月29日</p> <p>性教育講座 10月27日</p> <p>職業体験学習 12月8日</p> <p>表現・創作学習 通年</p> <p>通年</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 郷土理解学習 <ol style="list-style-type: none"> (1) 全校生徒が名川秋まつりに参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・お通り、お還りのパレード (ブラスバンド・よさこい・名川中学校山車・各町内の山車等) (2) 1学年生徒が文化祭や南部地方えんぶりでえんぶりを披露した。南部地方えんぶりでは指導者の協力を得て、全局生歌によるえんぶりを披露した。 <ul style="list-style-type: none"> ・摺り始め、松の舞、大黒舞、恵比寿舞、田打ち代だし、苗取り、苗運び、田の草取り、休み餅稲取り、脱穀、俵積み、米つき、摺り納め 2. 全学年で総合的な学習の時間を利用して体験活動を実施した。1年「えんぶり」、3年「表現・創作活動」では地域の方々から学習支援をしていただいた。1年「いのちの大切さ講座」では講師を招いて学習した。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 1年総合「えんぶり」 郷土理解学習と同じ。 (2) 1年「いのちの大切さ講座」 <ul style="list-style-type: none"> ・命の重み、自分を大切にする気持ち学んだ。 3年「性教育講座」 <ul style="list-style-type: none"> ・人の「生」と男女の「性」について学んだ。 (3) 年総合「職業体験学習」 <ul style="list-style-type: none"> ・望ましい職業観を育成するために、町内の10事業所を訪問し、仕事についての質問や体験活動を行った。 (4) 3年総合「表現・創作活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・サックス、三味線を学び、文化祭で披露した。 ・郷土の食材を活用した弁当を作った。 ・山車 郷土理解学習と同じ。 ・名久井焼を体験し、文化祭で披露した。 3. 主体的な学習活動 <ol style="list-style-type: none"> (1) プロジェクタ、カートスタンド 移動可能なプロジェクタ・カートスタンドを用いて、メディアスペースを活用した主体的な学習活動を行った。 (2) 大判プリンタロール紙・インク、模造紙 生徒活動のまとめや文化祭やメディアスペースに展示し、互いに学び合う環境づくりを行った。

特色ある学校経営事業の経過概要及び効果

南部町立南部中学校
校長 藤澤 均

活動名称 (テーマ)	「南中愛 ～基底～」
事業の効果	生徒会活動テーマ（「南中愛 ～基底～」）を基盤とし、豊かな人間性や生きる力と夢をはぐくむ生徒を育成するため、「明るいあいさつ」「さわやかな身なり」「健康生活」の確立をはかることができた。また、自主的な生徒活動の推進に取り組み、教育目標達成の一助となり、学校教育を推進することができた。
実施年月日	実施内容
5月下旬～ 12月2, 3日 5月18日 11月14日 10月11日 2月12日 10月30日 12月29日 5月下旬	1 学習支援 (1)学校農園野菜の栽培への支援 (2)職場体験活動（1学年 職場訪問による体験活動）への支援 2 行事支援 (1)体育祭各軍や全体に関わるマスコットづくりなどの活動への支援 (2)「いのちの大切さ」出前講座に伴う講演会等への支援 (3)合唱コンクールや文化祭におけるステージ発表や展示発表への支援 (4)立志式に伴う講演会、記念合唱、色紙、文集などへの支援 3 その他 (1)英語弁論大会等文化的活動への支援 (2)校内装飾環境、校内環境美化への支援 (3)学校行事を盛り上げるための応援旗作成の支援

